

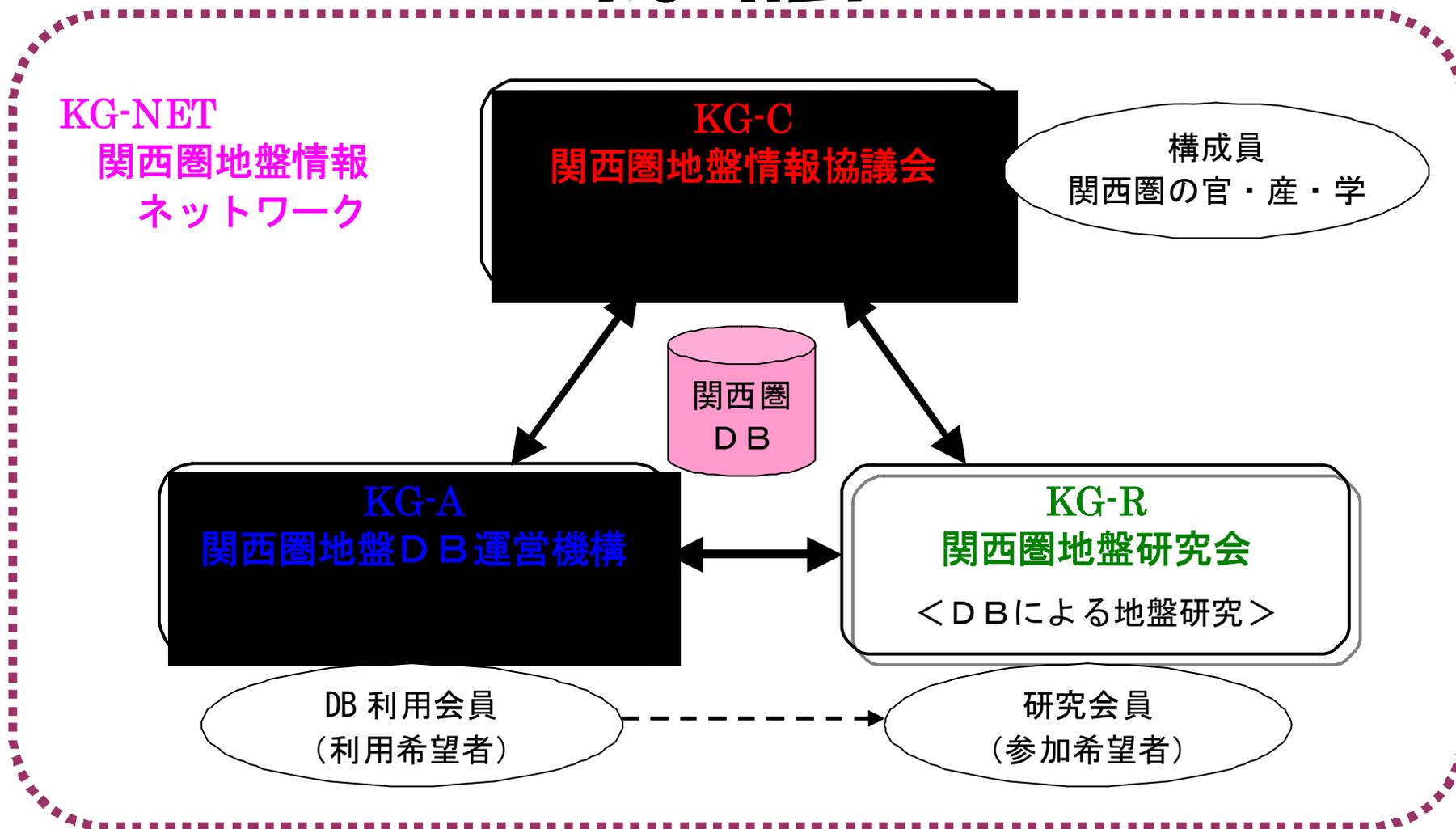


KG-NET・関西圏地盤DB運営機構 平成22年度 DB利用連絡会 連絡事項

- ◆ 関西圏地盤情報ネットワーク H21年度の活動
- ◆ DB運営機構の運営規則・運営要領の改正について
- ◆ 2008年度版CD-ROMの利用状況
- ◆ 2009年度版CD-ROMについて



関西圏地盤情報ネットワーク KG-NET



平成17年4月より 新体制

関西圏地盤情報ネットワーク 活動の目的

- 関西圏地盤情報の活用協議会の活動を継承し、データベースを“**関西圏の財産**”と位置づけ、関西圏における地盤情報活用のさらなる発展を担うことを目的とする。

KG-NET・関西圏地盤情報協議会 目的

当協議会は、関西圏地盤情報ネットワークを形成する組織の一つとして、関西圏地盤DB運営機構及び関西圏地盤研究会と協力し、関西圏地盤情報データベースを“**関西圏の財産**”と位置づけ、関西圏における地盤情報活用の更なる発展を担うため、次の役割を果たすことを目的とする。

- ・関西圏における地盤情報活用の促進・連携
- ・データベースの維持・活用及び地盤研究の支援

KG-NET・関西圏地盤情報協議会 活動

- データベースの管理
- 地盤情報活用方策の検討・企画
- 地盤情報活用のための組織間の連携・調整
- その他，協議会の目的を達成するために必要な活動



KG-NET・関西圏地盤情報協議会 構成員

【行政・公益構成員】官公庁, 公共および公益を目的とする法人

国土交通省近畿地方整備局企画部・港湾空港部, 大阪府 京都府, 兵庫県, 大阪市, 京都市, 神戸市, 堺市, 西宮市, 西日本高速道路(株) 関西支社, 阪神高速道路(株), (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 大阪支社, (独)都市再生機構 西日本支社, 大阪湾広域臨海環境整備センター, 関西国際空港(株), 関西電力(株), 大阪ガス(株), 西日本旅客鉄道(株), 関西高速鉄道(株)・NTTインフラネット(株) 関西支店, (財)地域地盤環境研究所

【学識構成員】協議会が委嘱する学識者

田中 泰雄(神戸大学 教授), 竹村恵二(京都大学 教授), 内田 一徳(神戸大学 教授), 岡 二三生(京都大学 教授), 常田 賢一(大阪大学 教授), 早川 清(立命館大学 教授), 平田健正(和歌山大学)

【協会構成員】民間の代表組織(各種協会)

(社)建築業協会関西支部, (社)建設コンサルタント協会近畿支部, 港湾技術コンサルタント協会, 関西地質調査業協会

平成22年9月現在



KG-NET・関西圏地盤情報協議会 役員

会 長:国交省近畿地方整備局 企画部長 (塚田幸広)

副会長:国交省近畿地方整備局 港湾空港部長 (田所篤博)

// 関西電力(株) 土木建築室 土木部長 (吉津洋一)

// 関西圏地盤研究会 委員長 (田中泰雄)

幹事長:近畿地整神戸港湾空港技術調査事務所長 (中島 晋)

副幹事長:近畿地整企画部技術調査課長 (藤目正敏)

顧 問:足立紀尚 [京都大学名誉教授]

松井 保 [大阪大学名誉教授]

中川康一 [大阪市立大学客員教授]

[事務局] 国交省近畿地方整備局 企画部・港湾空港部



KG-NET・関西圏地盤情報協議会 平成21年度 活動状況

- 会議 総会：平成21年7月30日
幹事会：平成21年6月18日
- 主な活動
 - ①自治体への正式入会と地盤情報の収集
 - ②和歌山平野の情報収集(KG-R研究活動)
 - ③滋賀県地盤情報データベースからの提供
 - ④H19～20地盤調査実施状況リスト提供依頼

自治体への正式入会と地盤情報収集の依頼

「関西圏地盤調査情報に関するアンケート」(第1回)

実施日 : 平成20年12月～平成21年1月

送付機関: 108機関 回答機関60機関(98件)

調査内容: KG-NET活動の認知度,

地盤情報の整備状況・提供可否

「関西圏地盤情報協議会への入会に関するアンケート」

(第2回)

実施日 : 平成21年2月

送付機関: 60機関 回答機関: 25機関(30件)

実施内容: 第1回調査結果の送付,

KG-Cへの入会問い合わせ

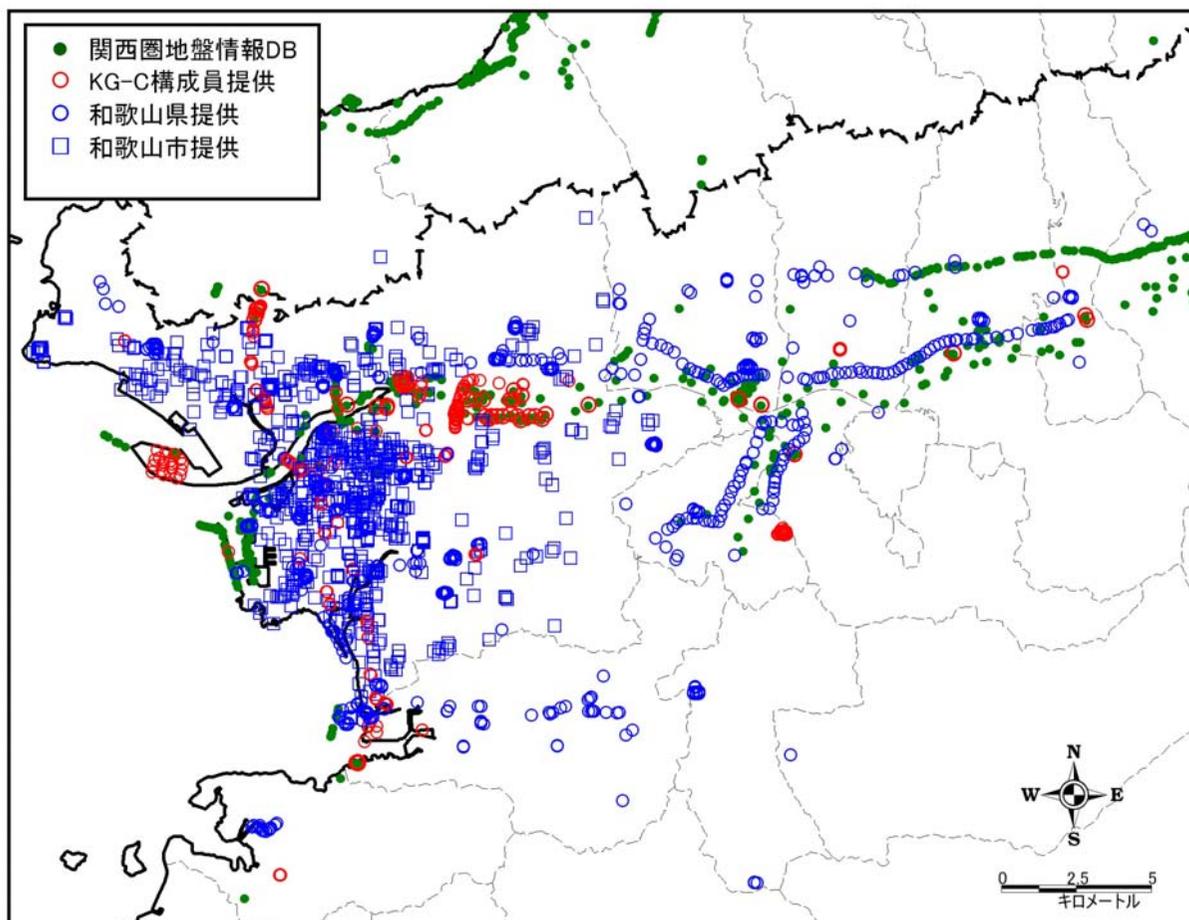
自治体への正式入会と地盤情報収集の依頼

機 関	KG-Cへの参加	地盤情報の提供
奈良県	〔オブザーバ〕	ボーリング収集データ：約270本（H23登録予定）
桜井市		借用調整中
橿原市		ボーリング収集データ：約900本（H23登録予定）
東大阪市		〔H16にデータ提供以降，新規データなし〕
芦屋市		借用調整中

※明石市，姫路市，高砂市はデータ依頼はしたが収集まで至らなかった

和歌山平野の情報収集 (KG-R研究に充填)

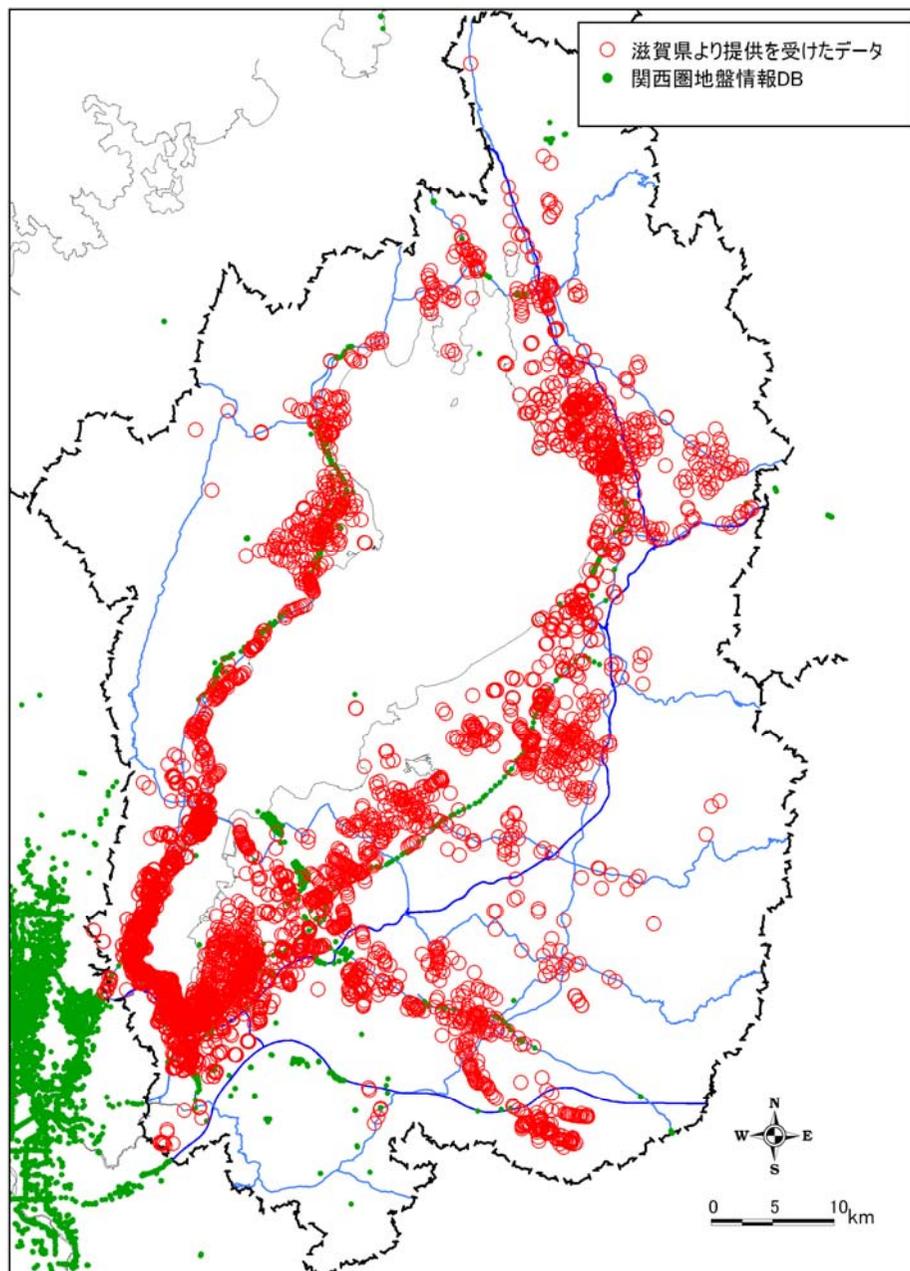
	収集 本数	入力 本数
近畿地整	280	280
JR西日本	7	7
関西電力	248	143
大阪ガス	1	1
和歌山県	915	766
和歌山市	841	788
計	2,292	1,985



※和歌山県，和歌山市のデータ利用は，研究活動に限ることが条件



滋賀県地盤情報データベースからの提供



滋賀県(オブザーバー)
より約4300本の提供

H19～20地盤調査実施状況リスト提供依頼

- KG-C行政・公益構成員にH19～20に実施した地盤調査の実施状況に関するリストを提供依頼
- リストに挙げられた地盤調査報告書をH22以降に収集予定
- H19～20地盤調査実施状況(報告書冊数)
約390冊(うち、電子納品270冊)

DB利用・提供方法の見直し

- ◇昨今の地盤情報の提供に関する動向等
- ◇例えば、国土地盤情報検索サイト(KuniJiban)では無料で一般公開し、閲覧、複製、頒布、貸与及び販売することを許諾されている。
- ◇このような時流に照らすと、本機構における参加条件は閉鎖的な印象が強い。
- ◇H21総会において、デジタルデータ(生データ)の提供の枠を拡大して欲しいとの発言があった。
- ◇H22総会において、「DB利用・提供方法の見直し」について審議され、承認を受けた。

①DB利用会員（一般）の参加資格条件

②デジタルデータ提供条件

③研究利用制度（大学等の研究者対象）

④データベース利用システム（研究成果のWeb公開）



DB利用会員（一般）の参加資格条件の改定

会員種別	現行	改定
KG-C利用会員	KG-Cの行政構成員及び公益構成員を対象とし、入会を申し出たものは入会を認める。	KG-Cの行政構成員及び公益構成員を対象とし、入会を申し出たものは入会を認める。
一般利用会員	<p>一般利用会員は、次の建設関連の協会等に所属するものとする。ただし、個人レベルの会員が所属する協会は除く。</p> <p>日本土木協会、建築業協会、建設コンサルタント協会、関西地質調査業協会、日本道路建設業協会、日本橋梁建設業協会、プレストレストコンクリート建設業協会、建築士事務所協会、日本埋立浚渫協会、港湾技術コンサルタント協会</p> <p>KG-C構成員以外の官公庁、公共および公益を目的とする法人等も入会を認める。</p>	<p>KG-C構成員以外を対象とし、<u>「データベースの利用に関する取り決め」を遵守する誓約を行ったもの</u></p>

デジタルデータ提供条件の主な改定項目

	現 行	変 更																																																								
対象者と条件	<ul style="list-style-type: none"> ◇KG-C 利用会員には、デジタルデータの提供を認める。 ◇一般利用会員の内、公益に関わる機関に対しても提供を認める。 ◇提供にあたっては、利用目的が明確なことを条件とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇<u>DB 利用会員には、デジタルデータの提供を認める。</u> ◇〔左記を削除〕 ◇提供にあたっては、利用目的が明確なことを条件とする。 																																																								
提供方法	<ul style="list-style-type: none"> ◇デジタルデータの提供は、有償での貸出とする。 ◇利用者は利用申込書（様式第 6 号）に利用目的と利用範囲などを記述して提出する。 ◇利用料・経費は下表に従って算出し、貸出期間は提供日より 1 年間とする。 ◇利用料 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>利用数量</th> <th>利用料</th> <th>作業費等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①全データ貸出</td> <td>50万円</td> <td>2万円</td> <td>・作業費、媒体料として2万円加算する</td> </tr> <tr> <td>②部分的な貸出</td> <td></td> <td></td> <td>算出式=本数×1000円/年+作業費等</td> </tr> <tr> <td> 10本以内</td> <td>1万円</td> <td>1万円</td> <td>・利用数は10本単位に切上げる</td> </tr> <tr> <td> 11～20本</td> <td>2万円</td> <td>〃</td> <td>・作業費、媒体料として1万円加算する</td> </tr> <tr> <td> 21～30本</td> <td>3万円</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td> …</td> <td>…</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	利用数量	利用料	作業費等	備考	①全データ貸出	50万円	2万円	・作業費、媒体料として2万円加算する	②部分的な貸出			算出式=本数×1000円/年+作業費等	10本以内	1万円	1万円	・利用数は10本単位に切上げる	11～20本	2万円	〃	・作業費、媒体料として1万円加算する	21～30本	3万円	〃		…	…			<ul style="list-style-type: none"> ◇デジタルデータの提供は、有償での貸出とする。 ◇〔利用者は利用申込書（様式第 6 号）に利用目的と利用範囲などを記述して提出する。 ◇<u>KG-A は、利用申請の内容を確認し、データ提供を行う。提供状況は、KG-C に報告する。なお、「利用規約」の“利用目的”にそぐわない場合は、貸出を行わない。</u> ◇貸出料・経費は下表に従って算出し、貸出期間は提供日より 1 年間とする。 ◇利用者は、<u>貸出期間終了後直ちに、データを返却する。併せて、返却報告書を提出し、複写等を行った場合は全てを消去する。</u> ◇貸出料 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>貸出数量</th> <th>貸出料</th> <th>作業費等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①全データ貸出</td> <td>45万円</td> <td>2万円</td> <td>・作業費、媒体料として2万円加算する</td> </tr> <tr> <td>②部分的な貸出</td> <td></td> <td></td> <td>算出式=本数×1000円/年+作業費等</td> </tr> <tr> <td> 10本以内</td> <td>1万円</td> <td>1万円</td> <td>・貸出数は10本単位に切上げる</td> </tr> <tr> <td> 11～20本</td> <td>2万円</td> <td>〃</td> <td>・作業費、媒体料として1万円加算する</td> </tr> <tr> <td> 21～30本</td> <td>3万円</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td> …</td> <td>…</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	貸出数量	貸出料	作業費等	備考	①全データ貸出	45万円	2万円	・作業費、媒体料として2万円加算する	②部分的な貸出			算出式=本数×1000円/年+作業費等	10本以内	1万円	1万円	・貸出数は10本単位に切上げる	11～20本	2万円	〃	・作業費、媒体料として1万円加算する	21～30本	3万円	〃		…	…		
利用数量	利用料	作業費等	備考																																																							
①全データ貸出	50万円	2万円	・作業費、媒体料として2万円加算する																																																							
②部分的な貸出			算出式=本数×1000円/年+作業費等																																																							
10本以内	1万円	1万円	・利用数は10本単位に切上げる																																																							
11～20本	2万円	〃	・作業費、媒体料として1万円加算する																																																							
21～30本	3万円	〃																																																								
…	…																																																									
貸出数量	貸出料	作業費等	備考																																																							
①全データ貸出	45万円	2万円	・作業費、媒体料として2万円加算する																																																							
②部分的な貸出			算出式=本数×1000円/年+作業費等																																																							
10本以内	1万円	1万円	・貸出数は10本単位に切上げる																																																							
11～20本	2万円	〃	・作業費、媒体料として1万円加算する																																																							
21～30本	3万円	〃																																																								
…	…																																																									

KG-NET・関西圏地盤DB運営機構 目的

当DB機構は、関西圏地盤情報ネットワークを形成する組織の一つとして、関西圏地盤情報協議会及び関西圏地盤研究会と協力し、関西圏地盤情報データベースを“**関西圏の財産**”と位置づけ、関西圏における地盤情報活用の更なる発展を担うため、次の役割を果たすことを目的とする。

- ・データベースの追加，更新及び維持管理
- ・データベースの相互利用

KG-NET・関西圏地盤DB運営機構 活動

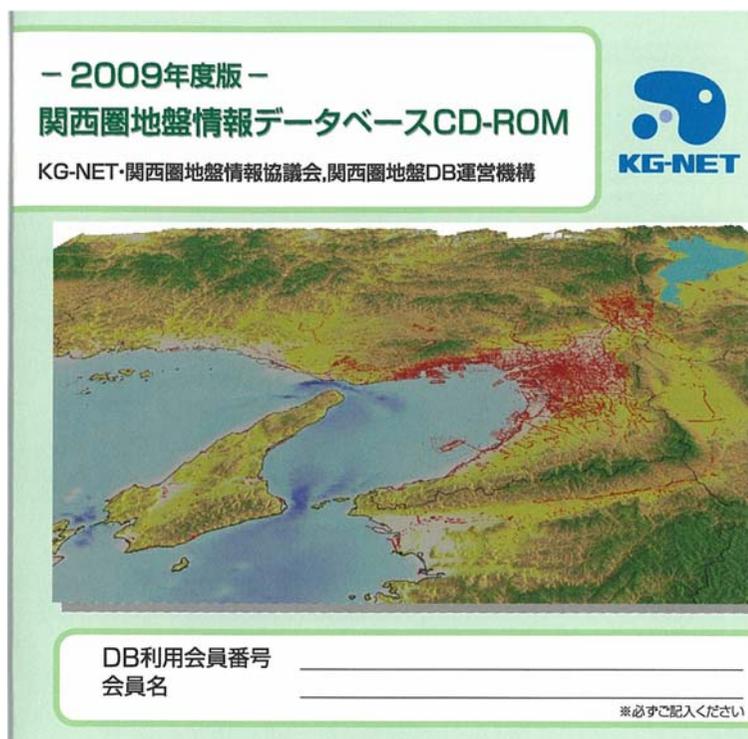
- 地盤調査情報のデータベースへの追加・更新
- データベースの維持管理
- データベースの提供実務
- KG-R刊行物の販売や活動PR等の支援活動
- その他, DB機構の目的を達成するために必要な事業

KG-NET・関西圏地盤DB運営機構 DB利用会員

- ◇KG-C 利用会員:KG-C行政構成員及び公益構成員
でデータベースを利用する会員(19機関)
 - ◇一般利用会員:KG-C利用会員以外を対象とし、「データ
ベースの利用に関する取り決め」を遵守す
る誓約をおこなったもの
(公的機関:3機関 民間企業:62社)
- [運営実務]地域地盤環境研究所

KG-NET・関西圏地盤DB運営機構 データベースの提供

- DB利用連絡会 1回／年
- 9月末日までに開催（2009. 9. 17）

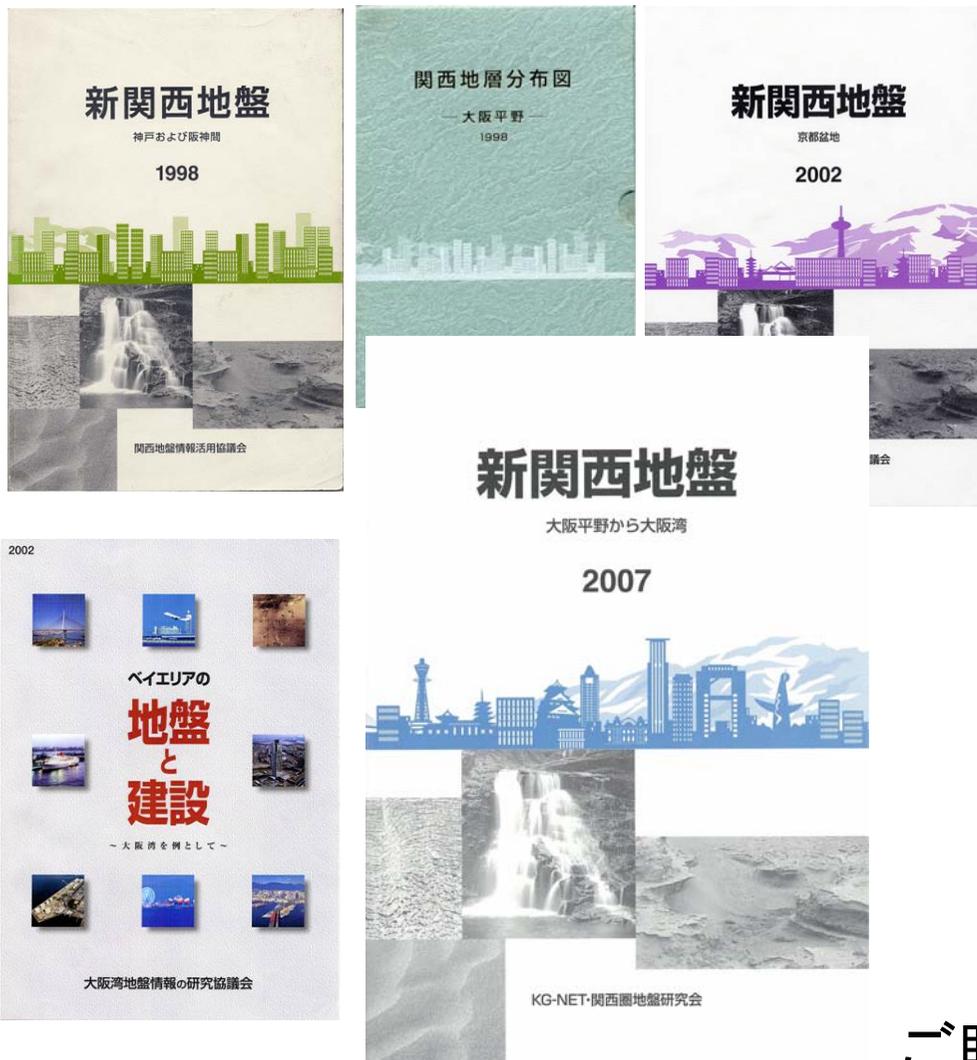


2008年度版



KG-NET・関西圏地盤DB運営機構

KG-R 刊行本の販売



KG-R刊行物	価格	会員価格
新関西地盤 —神戸および阪神間—	10,000	8,000
関西地層分布図 —大阪平野—	3,000	希望者には提供
新関西地盤 —京都盆地—	8,000	6,000
バイエリアの地盤と建設 —大阪湾を例として—	13,000	10,000
新関西地盤 —大阪平野から大阪湾—	10,000	10,000

ご購入を希望される方は事務局まで



平成21年度 決算報告

○平成21年度の決算を報告する。なお、この内容については、KG-A内部確認を実施し、KG-C事務局が最終確認をした。

○KG-A運営規則第12条に従い、平成21年度KG-C幹事会(H21.6.18)において承認を受けた。

1. 収入の部

予 算	
科 目	予算額
A. 協議会運営収入	9,830,000
1. DB利用会費	
KG-C利用会員	2,025,000
一般利用会員	6,500,000
2. DB利用料	1,025,000
3. 書籍販売	280,000
B. 前年度繰越金	143,070
合 計	9,973,070

実 施 額			
科 目	収入額 (税抜)	収入額 (税込)	備考
A. 協議会運営収入	12,291,086	12,490,488	
1. DB利用会費			
KG-C利用会員	1,800,000	1,825,000	18機関
一般利用会員	6,500,000	6,500,000	3+62機関
2. DB利用料	3,650,000	3,807,500	データ貸出7機関
4. 書籍販売	338,098	355,000	送料含む
5. 利息	2,988	2,988	
B. 前年度繰越金	143,070	143,070	
C. 消費税過払分		395,031	
合 計	12,434,156	13,028,589	

2. 支出の部

予 算	
科 目	予算額
A. 支出	9,828,000
1. 運営費	1,150,000
(1) DB利用連絡会会議費	100,000
(2) 事務代行費	1,050,000
2. DB維持拡張費	6,775,000
(1) データ入力	5,250,000
(2) データ収集	500,000
(3) 資料保管移設費	500,000
(4) ハードウェア維持費	525,000
3. CD-ROM作成費	903,000
(1) 編集作業	420,000
(2) プレス代	483,000
4. その他経費	500,000
(1) ホームページ維持	200,000
(2) 事務諸経費	300,000
5. KG-NET活動支援	500,000
(1) KG-C資料作成費等	500,000
B. 繰越金	145,070
合 計	9,973,070

実 施 額			
科 目	支出額 (税抜)	支出額 (税込)	備考
A. 支出	11,917,346	12,511,779	
1. 運営費	1,048,158	1,100,011	
(1) DB利用連絡会会議費	48,158	50,011	DB利用連絡会
(2) 事務代行費	1,000,000	1,050,000	固定費
2. DB維持拡張費	9,025,371	9,476,309	
(1) データ入力	7,000,000	7,350,000	500本+和歌山200本
(2) データ収集	1,047,549	1,099,923	
(3) 資料保管移設費	477,822	501,386	
(4) ハードウェア維持費	500,000	525,000	固定費
3. CD-ROM作成費	860,000	903,000	
(1) 編集作業	400,000	420,000	固定費
(2) プレス代	460,000	483,000	300枚
4. その他経費	380,349	399,372	
(1) ホームページ維持	160,800	168,840	
(2) 事務諸経費	219,549	230,532	
5. KG-NET活動支援	603,468	633,087	
(1) KG-C資料作成費等	603,468	633,087	
B. 繰越金	516,810	516,810	
合 計	12,434,156	13,028,589	

平成22年度 事業計画

- KG-A運営要領に基づき、平成22年度の事業計画を作成した。
- 平成22年度KG-C幹事会（H22.6.18）で承認された（KG-A運営規則第11条）。

（1）ボーリングデータの入力

- ・KG-Cより依頼された場合、KG-C構成員のデータ収集の補助を行う。
- ・KG-Cより貸与される地盤調査情報のデータベースへの追加・更新を行う。
- ・入力本数は、500本を予定する。ただし、収入予算に応じて入力数を増減させる。
- ・データの入力：紙データの手入力300本、電子納品データ変換200本

（2）DB利用連絡会の開催：平成22年9月29日

（3）データベースの利用サービス

（4）KG-R刊行物の販売

（5）活動PR：KG-NETのホームページによる活動紹介

（6）DB利用・提供方法の見直し

（7）その他

- ・KG-Cの指導による活動



平成22年度 予算計画

○KG-A運営要領に基づき、平成21年度の予算計画を作成した。

○KG-A運営規則第11条に従い、平成21年度幹事会（H21.6.18）において承認を受けた。

収 入			支 出		
科 目	金額	摘要	科 目	金額	摘要
A. 収入	9,280,000		A. 支出	9,428,000	
1. DB利用会費	8,500,000	(別紙)	1. 運営費	1,150,000	
2. DB利用料	500,000	(別紙)	(1)DB利用連絡会会議費	100,000	
3. 書籍販売(送料含む)	280,000	(別紙)	(2)事務代行費	1,050,000	固定費
			2. データベース維持拡張費	5,225,000	
			(1)データ入力	4,200,000	紙300本 電子200本
			(2)データ収集	500,000	
			(3)ハードウェア維持費	525,000	固定費
			3. CD-ROM作成費	903,000	
			(1)編集作業	420,000	固定費
			(2)プレス代	483,000	300枚
			4. その他経費	1,650,000	
			(1)Webページ更新	1,350,000	
			(2)事務諸経費	300,000	
			5. KG-NET支援費	500,000	
			(1)KG-C資料作成費等	500,000	
B. 前年度繰越金等	516,810		B. 繰越金	368,810	
合 計	9,796,810		合 計	9,796,810	



KG-NET・関西圏地盤研究会 目的

当研究会は、関西圏地盤情報ネットワークを形成する組織の一つとして、関西圏地盤情報協議会及び関西圏地盤DB運営機構と協力し、関西圏地盤情報データベースを“**関西圏の財産**”と位置づけ、関西圏における地盤情報活用の更なる発展を担うため、次の役割を果たすことを目的とする。

- ・データベースの活用による
地域地盤特性の調査および研究

KG-NET・関西圏地盤研究会 活 動

- ① データベースによる調査および研究
 - 地域地盤特性の調査・研究
 - 諸機関の利用対象地下における地盤特性の検討
 - 諸機関の要請による調査・研究
- ② その他，研究会の目的を達成するために必要な活動



KG-NET・関西圏地盤研究会

役員・会員など

- 委員長：田中泰雄(神戸大学 教授)
- 副委員長：竹村恵二(京都大学 教授)
- 運営委員：
内田 一徳(神戸大学 教授)，岡 二三生(京都大学 教授)，常田 賢一(大阪大学 教授)，
早川 清(立命館大学 教授)，平田 健正(和歌山大学 教授)
- 運営幹事長：三村 衛(京都大学 准教授)
- 運営幹事：
大島 昭彦(大阪市立大学 准教授)，小田 和広(大阪大学 准教授)，
澤田 純男(京都大学 教授)，三田村 宗樹(大阪市立大学 教授)，山本 浩司(GRI)
- KG-R学識委員
勝見 武(京都大学 教授)，鋤田 泰子(神戸大学 准教授)，
澁谷 啓(神戸大学 教授)，肥後 陽介(京都大学 助教)，
- 顧問：松井 保(大阪大学名誉教授)，中川康一(大阪市立大学名誉教授)

- KG-C研究会員：KG-C構成員で研究会に参加を希望する会員 (13機関)
- DB機構 研究会員：DB機構の一般利用会員で研究会に参加を希望する会員(15機関)
- [事務局]地域地盤環境研究所

平成22年7月現在



KG-NET・関西圏地盤研究会 H22 活動内容

◆ 研究期間 第2期

平成20年度から3年間活動

平成23年度9月頃講習会開催予定

◆ 活動方針

これまでの研究活動の経験と成果を土台に，次の3点を第2期研究の活動方針とする。

- ①**これまでの地盤研究の応用・拡張** ⇒ **周辺地域の地盤研究，成果の定期出版・講習会など**
- ②**これまでの地盤研究の洗練・転換** ⇒ **電子情報化(電子地盤図)，地盤情報の活用促進など**
- ③**これまでの地盤研究の集約・発信** ⇒ **一般図書出版，論文発表など**

◆組織体制

- ◇企画部会・・・KG-Rのコントロールタワーとして研究活動を運営・執行する。
- ◇運営幹事会・・・KG-Rの運営実務に関わる起案と研究活動の調整を行う。
- ◇全体委員会・・・研究会員が集う相互交流の場およびKG-Rの総会として開催する。
- ◇研究部会・WG・・・地域地盤研究および勉強会を行う。

【地域地盤研究部会】と内部に常設する【各地盤研究WG】等で活動する。

- ・地盤特性・電子化WG
- ・和歌山平野地盤研究WG
- ・地震・地盤挙動研究WG
- ・勉強会

- ◇編纂委員会・・・特別事業として、第1期研究成果等の図書出版を行う。
- ◇事務局・・・KG-Rの運営事務（経理，会議設定・準備など）を補佐する。
(財)地域地盤環境研究所（GRI）が努める。

和歌山基準ボーリング

- ◇調査場所：和歌川下流右岸
- ◇調査時期：平成22年3月1日～16日
- ◇調査内容：

No.1(掘進長45m)・・・

標準貫入試験, PS検層(ダウンホール, サスペンション)

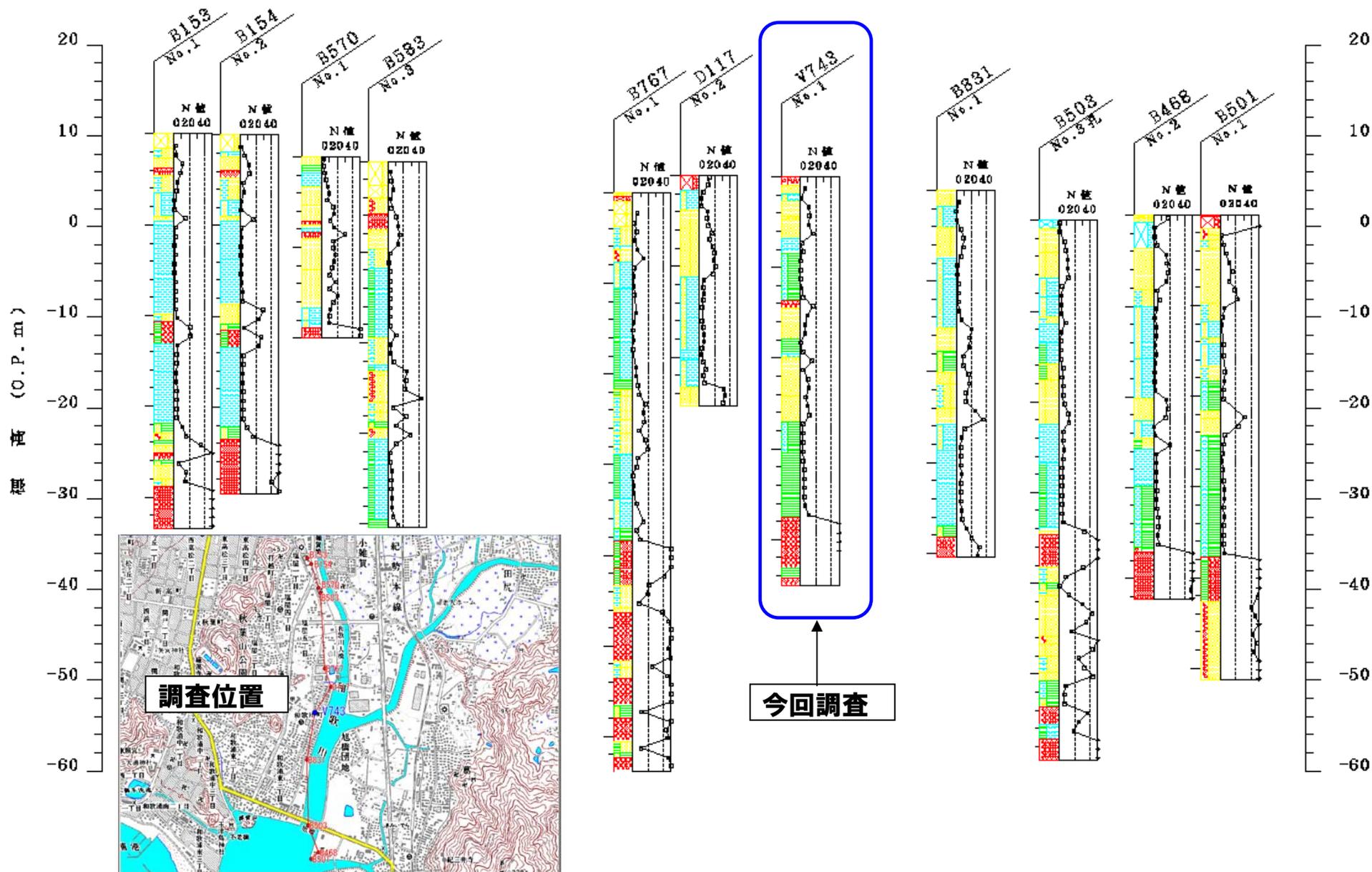
No.2(掘進長38m)・・・シンウォールサンプリング, デニソンサンプリング, サンドサンプリング

地質分析(火山ガラス含有量, 貝形虫分析など)

土質試験(物理試験, 一軸圧縮試験, 圧密試験, 動的三軸試験など)



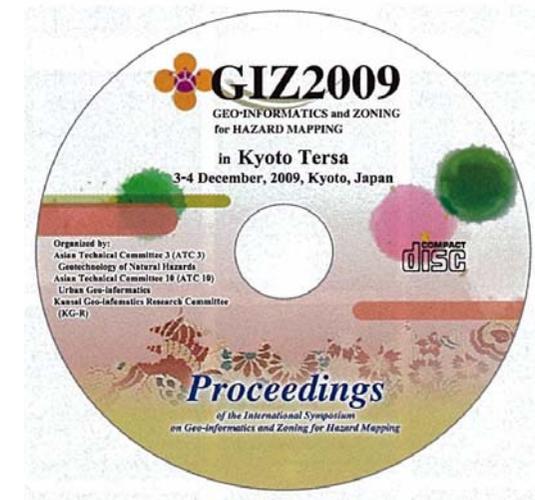
和歌山基準ボーリング





国際シンポジウムなどの共催・後援

- 会議: International Symposium on Geoinformatics and Zoning for Hazard Mapping(GIZ2009)
- 日時: 2009.12.3~4
- 場所: 京都テルサ
- 共催: ATC3, ATC10, KG-R
- 関西活断層シンポジウム
- 日時: 2010. 5. 18
- 場所: 建設交流館 グリーンホール
- 主催: 地域地盤環境研究所
- 後援: 土木学会関西支部, 地盤工学会関西支部, 日本建築学会近畿支部, 日本応用地質学会関西支部, 日本情報地質学会, KG-R, 関西地震観測研究協議会, 関西ライフライン研究会, 地下水環境に関する研究協議会, 西宮市, 毎日新聞社, NHK大阪放送局



平成21～22年度 勉強会

		講 座
H21	6/16	◎巡検:和泉丘陵のMa3を探しに ◎実験:粘土強度の測定 ◆大阪平野から丘陵の地質(三田村宗樹)
	7/29	◆圧密とせん断の基礎から解析まで—土の力学モデルの展開—(小田和広)
	9/25	◆地震時の地盤とライフライン被害の関係(鋤田泰子) ◆ライフライン地震被害の予測技術(村上貴志)
	12/8	◆トラブル事例から学ぶ地盤工学(諏訪靖二)
H22	7/6	◆性能を考えた道路盛土の耐震強化・補強(常田賢一) ◆地震動—地震時の地下で何が起きるのか?—(後藤浩之)
	8/30	◎巡検:大阪平野表層の地層を見る(趙 哲済, 三田村宗樹) ◆遺跡が語る地震の歴史(寒川 旭)
	10/20	建設工事における再使用・再利用と環境影響評価(乾 徹) 土壌汚染対策法と汚染調査実施例(白木 音信)
	12月	宅地造成に関わるトラブル事例(仮)(諏訪靖二)

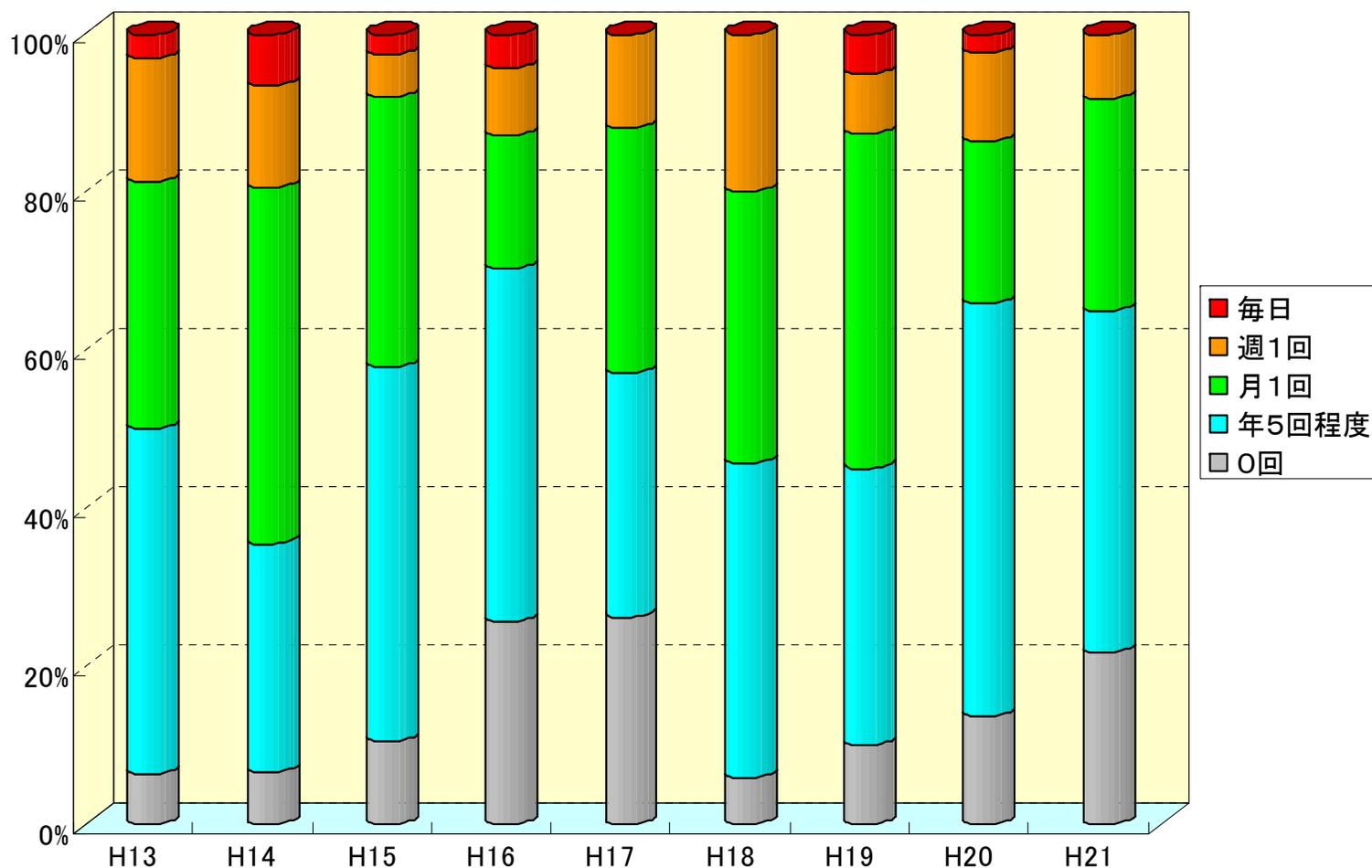
関西圏地盤情報DB CD-ROM の利用状況

- ◆ 関西圏地盤情報DB CD-ROMの更なる利用促進を図るため、毎年アンケート調査を実施
- ◆ 平成13年から21年の調査結果

DB利用アンケート調査

Q1：利用頻度

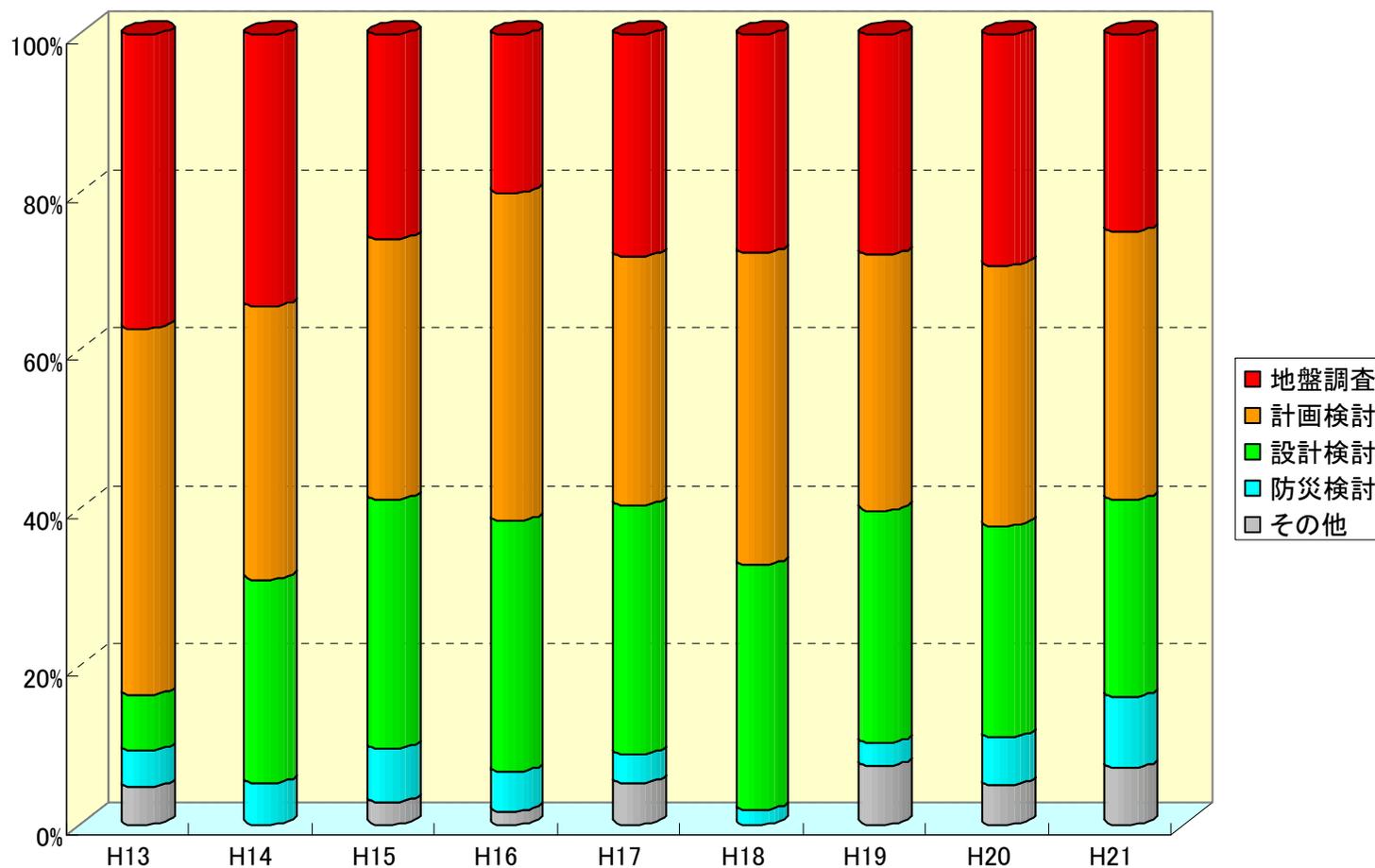
関西圏CD-ROMを1年間でどの程度利用？（1項目回答）



DB利用アンケート調査

Q2：利用目的

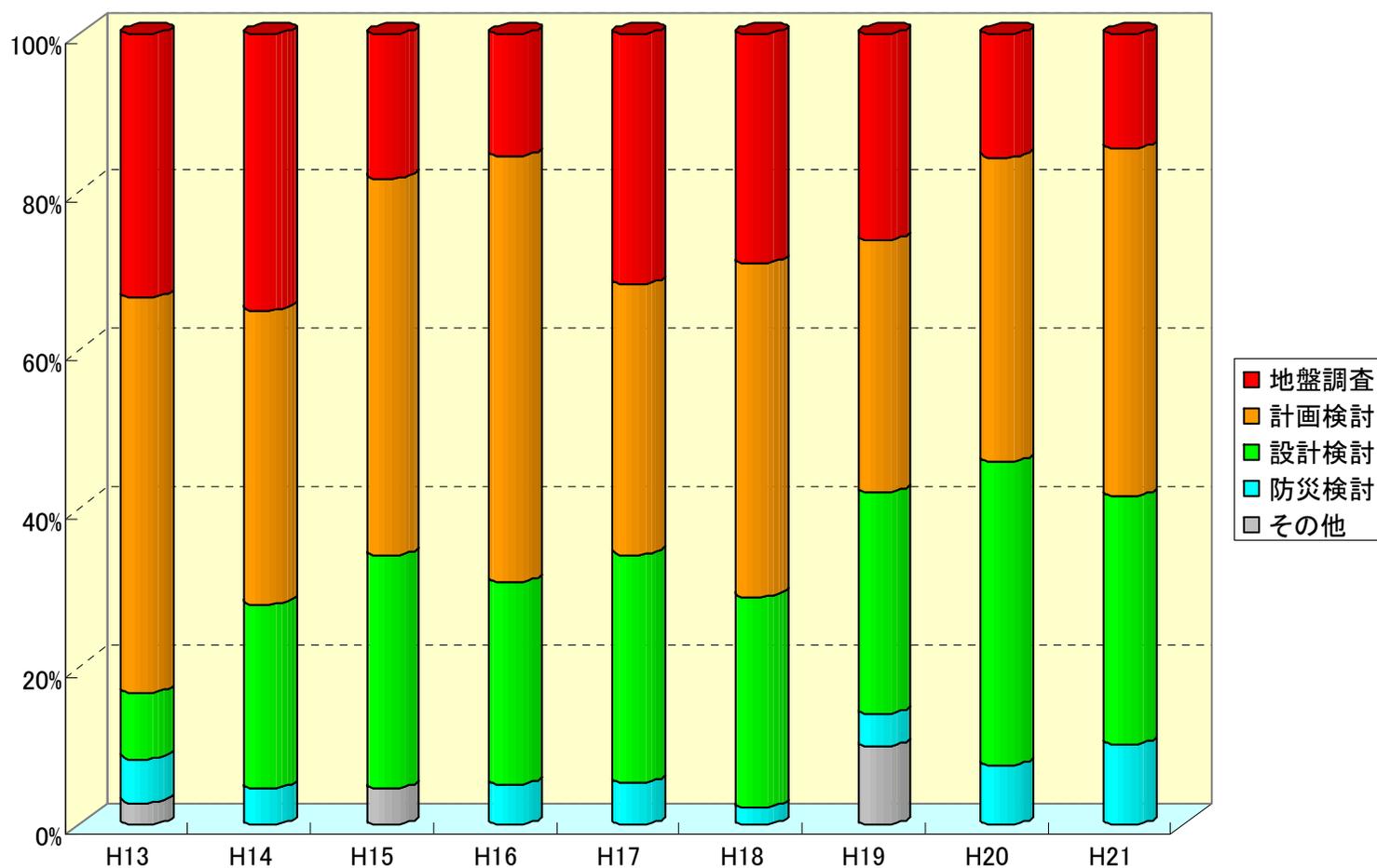
関西圏CD-ROMをどのような目的で利用？（複数回答）



DB利用アンケート調査

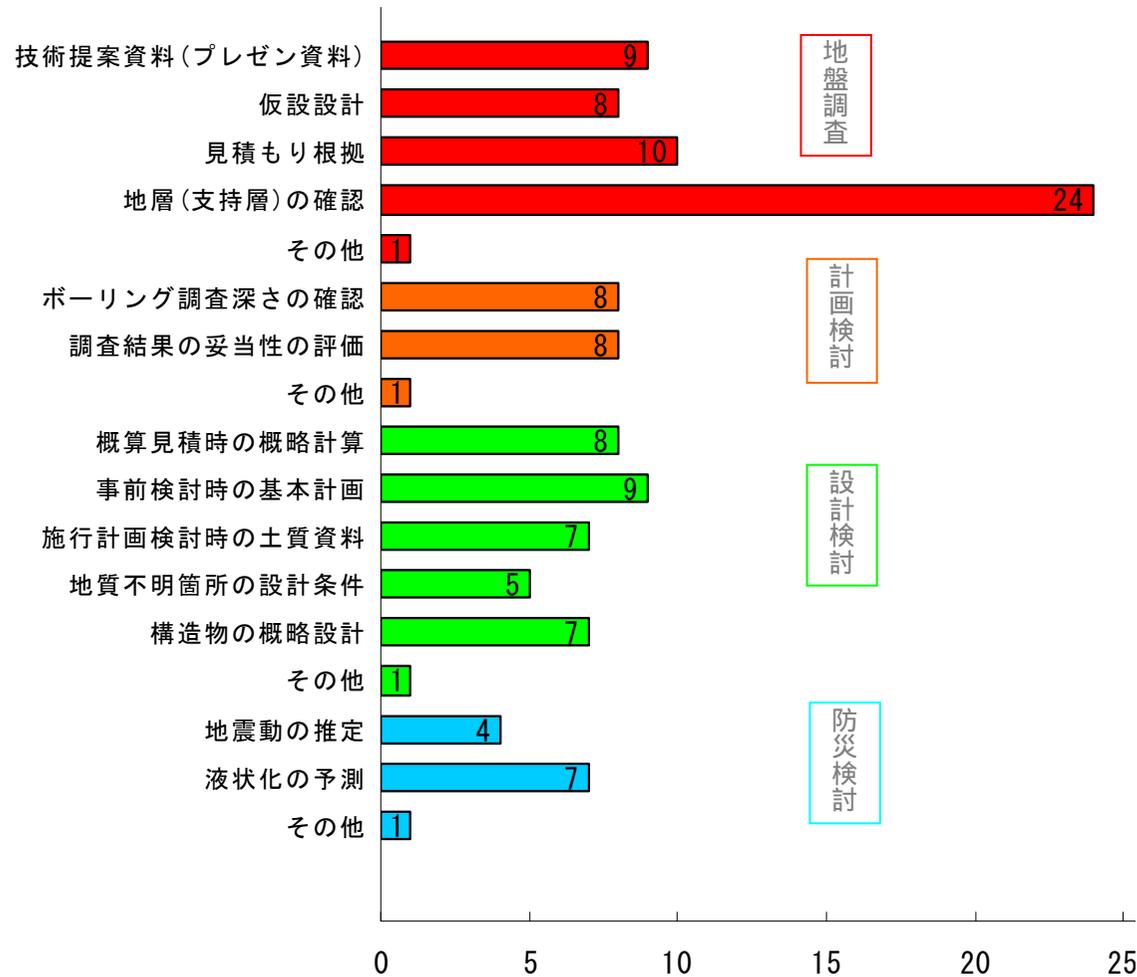
Q3：利用目的

Q2の中で利用効果が高かったのは？（複数回答）



DB利用アンケート調査

Q4：利用効果



- ・雨水施設浸透適地マップ作成のデータとして利用
- ・工事計画前の大まかな地盤状況確認に利用
- ・支持層の深度確認による鋼材杭採用の検討(工法選定など)
- ・土質試験の結果を参考に圧密沈下の可能性について検討(確認申請での参考資料とした)
- ・基盤層位置の確認
- ・土質確認による液状化の可能性についての概略検討
- ・地盤の概略把握(調査計画や情報の補間)

DB利用アンケート調査

Q5：ソフトの改良希望

- ・ 検索地図のA3出力
- ・ 前回操作や設定の保存・呼び出し
- ・ マウスホイールによる地図の拡大・縮小
- 柱状図の重なり解除
- 土質名の表記
- 検索地図の充実

2010年度版CD-ROMについて

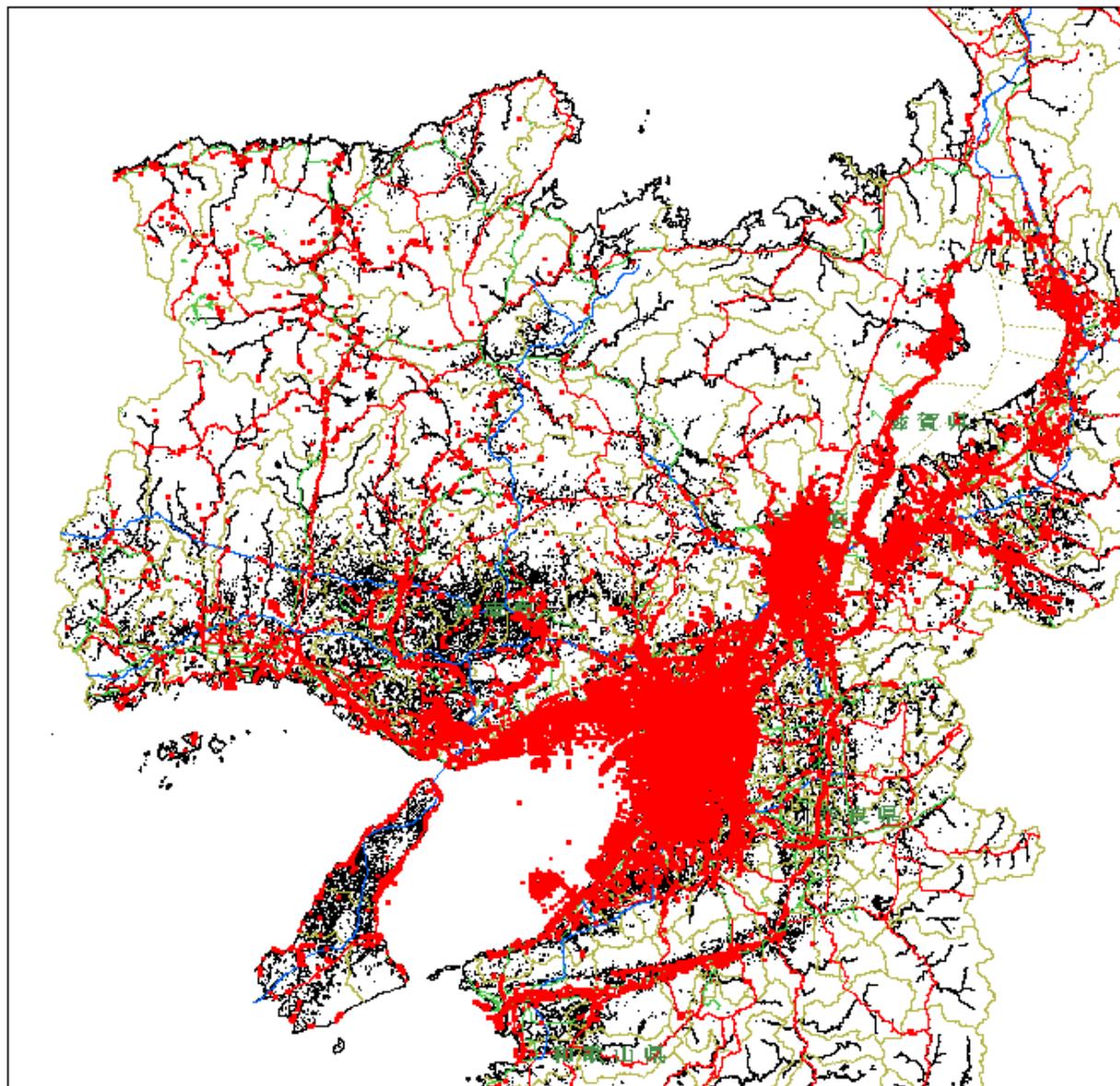
- ボーリング情報の追加
- 世界測地系対応
- 地図出力A3出力



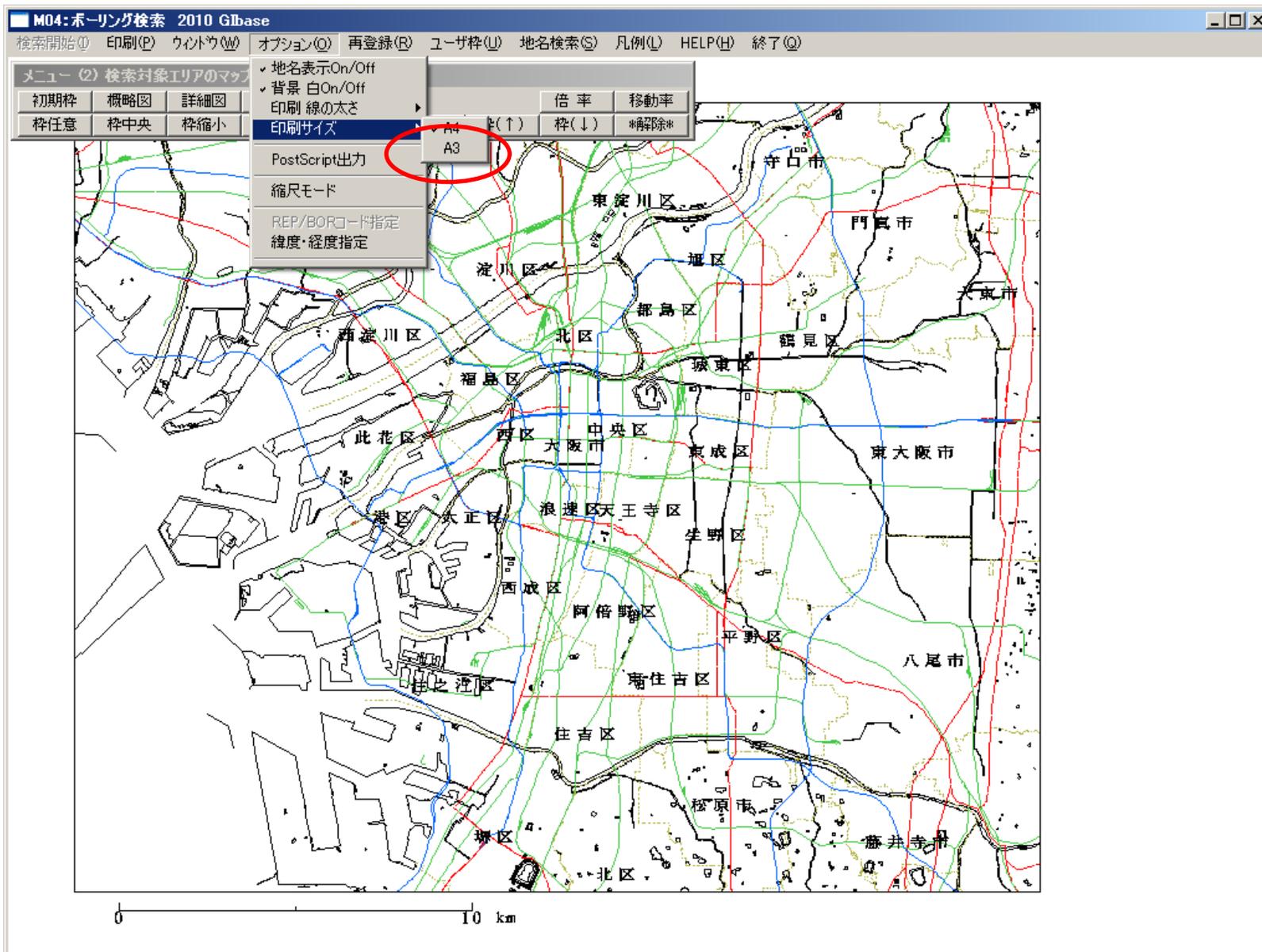
関西圏地盤情報DB

大阪 : 22000本
京都 : 9000本
兵庫 : 14000本
滋賀 : 5500本
奈良 : 500本
和歌山 : 1000本
福井 : 200本

約52000本



地図画面のA3出力



これまでに追加した主な機能

アプリケーション	追加機能
メニュー画面	単位系の切替, 標高基準の切替, 柱状図凡例表示
Bpr.検索プログラム	任意枠の登録・呼出, 表示画面の縮尺設定, REP/BORコードによる検索, 地名検索, ボーリング検索時の挿入機能, マウスによる移動, 直線検索, 任意位置への移動
土性図作成プログラム	地層名の表示
断面図作成プログラム	孔内水位の表示, 柱状図凡例表示 ボーリングコードの非表示, ボーリングの等間隔表示, 表示画面の縮尺設定, A3用紙印刷
各プログラム共通	PostScript・DXF形式出力, HELP機能

SI単位への対応

DIG Menu Copyright(C) Geo-Research Institute

最新データ | データ保存 | データ呼出 | 凡例 1 | 凡例 2

2004/09/02 11:17 単位系 : 重力単位

選定ボーリング本数 : 8 本
コメント :

R/B Code	EL/GL	上端(m)	下端(m)	Mark	半径(cm)	色	距離(m)
GNm1m101	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	150.0,
C005A452	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	150.0,
L590V348	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	150.0,
0480o382	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	150.0,
0934o769	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	150.0,
04220112	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	150.0,
0493o511	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	150.0,
C005A460	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	150.0,

オプション初期値設定

各プログラムに対してオプション設定の初期値（起動時）を設定することができます。

背景色の設定 白 (White)

カラー印刷 カラー

印刷の線太さ 普通

単位系 SI 単位

標高基準 重力単位
SI 単位

OK キャンセル

DIG プログラムメニュー

- ボーリング検索
- 断面図
- 断面図(抽出範囲設定)
- 土性図
- 深度分布図
- 相関図(固定図式)
- 相関図(XY軸指定)
- 圧密関係図
- 三軸モール円図
- 試験結果一覧表

操作方法ヘルプ

オプション設定

メニュー終了

標高基準の切替

DIG Menu Copyright(C) Geo-Research Institute

DIGプログラムメニュー

- ボーリング検索
- 断面図
- 断面図(抽出範囲設定)
- 土性図
- 深度分布図
- 相関図(固定図式)
- 相関図(XY軸指定)
- 圧密関係図
- 三軸モール円図
- 試験結果一覧表

操作方法ヘルプ

オプション設定

メニュー終了

最新データ データ保存 データ呼出 凡例 1 凡例 2

2009/09/12 14:39 単位系 : S I 単位

選定ボーリング本数 27 本

コメント :

R/B Code	EL/GL	上端(m)	下端(m)	Mark	半径(cm)	色	距離(m)
X105K814	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	150.0,
X105K815	2,	0.00,	-999.00,	2,	0.07,	2,	269.7,
X105K816	2,	0.00,	-999.00,	3,	0.07,	3,	247.1,
X105K817	2,	0.00,	-999.00,	4,	0.07,	4,	500.2,
X106K818	2,	0.00,	-999.00,	5,	0.07,	5,	504.3,
X106K819	2,	0.00,	-999.00,	6,	0.07,	6,	351.9,
F025C117	2,	0.00,	-999.00,	7,	0.07,	7,	66.8,
F025C116	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	25.4,
F025C118	2,	0.00,	-999.00,	2,	0.07,	2,	25.4,
F025C115	2,	0.00,	-999.00,	3,	0.07,	3,	25.4,
X106K820	2,	0.00,	-999.00,	4,	0.07,	4,	25.4,
X106K821	2,	0.00,	-999.00,	5,	0.07,	5,	25.4,
X106K822	2,	0.00,	-999.00,	6,	0.07,	6,	25.4,
X106K823	2,	0.00,	-999.00,	7,	0.07,	7,	25.4,
X106K826	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	25.4,
F201D052	2,	0.00,	-999.00,	2,	0.07,	2,	25.4,
X106K825	2,	0.00,	-999.00,	3,	0.07,	3,	25.4,
X106K824	2,	0.00,	-999.00,	4,	0.07,	4,	25.4,
X106K827	2,	0.00,	-999.00,	5,	0.07,	5,	25.4,
X106K828	2,	0.00,	-999.00,	6,	0.07,	6,	25.4,
X106K829	2,	0.00,	-999.00,	7,	0.07,	7,	25.4,
X106K830	2,	0.00,	-999.00,	1,	0.07,	1,	25.4,
X106K831	2,	0.00,	-999.00,	2,	0.07,	2,	25.4,
X106K832	2,	0.00,	-999.00,	3,	0.07,	3,	25.4,
X106K833	2,	0.00,	-999.00,	4,	0.07,	4,	25.4,
X106K834	2,	0.00,	-999.00,	5,	0.07,	5,	25.4,
X106K835	2,	0.00,	-999.00,	6,	0.07,	6,	25.4,

オプション初期値設定

各プログラムに対してオプション設定の初期値(起動時)を設定することができます。

背景色の設定 白(White)

カラー印刷 カラー

印刷の線太さ 普通

単位系 S I 単位

標高基準 T.P.

O.P.

T.P.

OK キャンセル

柱状図の凡例表示

DIG Menu Copyright(C) Geo-Research Institute

DIGプログラムメニュー

- ボーリング検索
- 断面図
- 断面図(抽出範囲設定)
- 土性図
- 深度分布図
- 相関図(固定図式)
- 相関図(XY軸指定)
- 圧密関係図
- 三軸モール円図
- 試験結果一覧表

最新データ | データ保存 | データ呼出 | 凡例 1 | **凡例 2**

2004/09/02 11:17 単位系: 重力単位

選定ボーリング本数: 8 本
コメント:

R/B Code	EL/GL	上端(m)	下端(m)	Mark	半径(cm)	色	距離(m)
C00							
L50							
048							
093							
042							
049							
C00							

土質

- ヘドロ
- 玉石, 捨石
- 礫, 砂礫, 礫質土
- 砂, 砂質土
- シルト
- 粘土
- 腐植土, ビート
- 廃棄物, フライアッシュ

質/混じり

- 火山灰
- 空洞
- シルト質砂
または
シルト混じり砂
- 粘土質シルト
または
粘土混じりシルト
- 腐植土質粘土
または
腐植土混じり粘土

互層

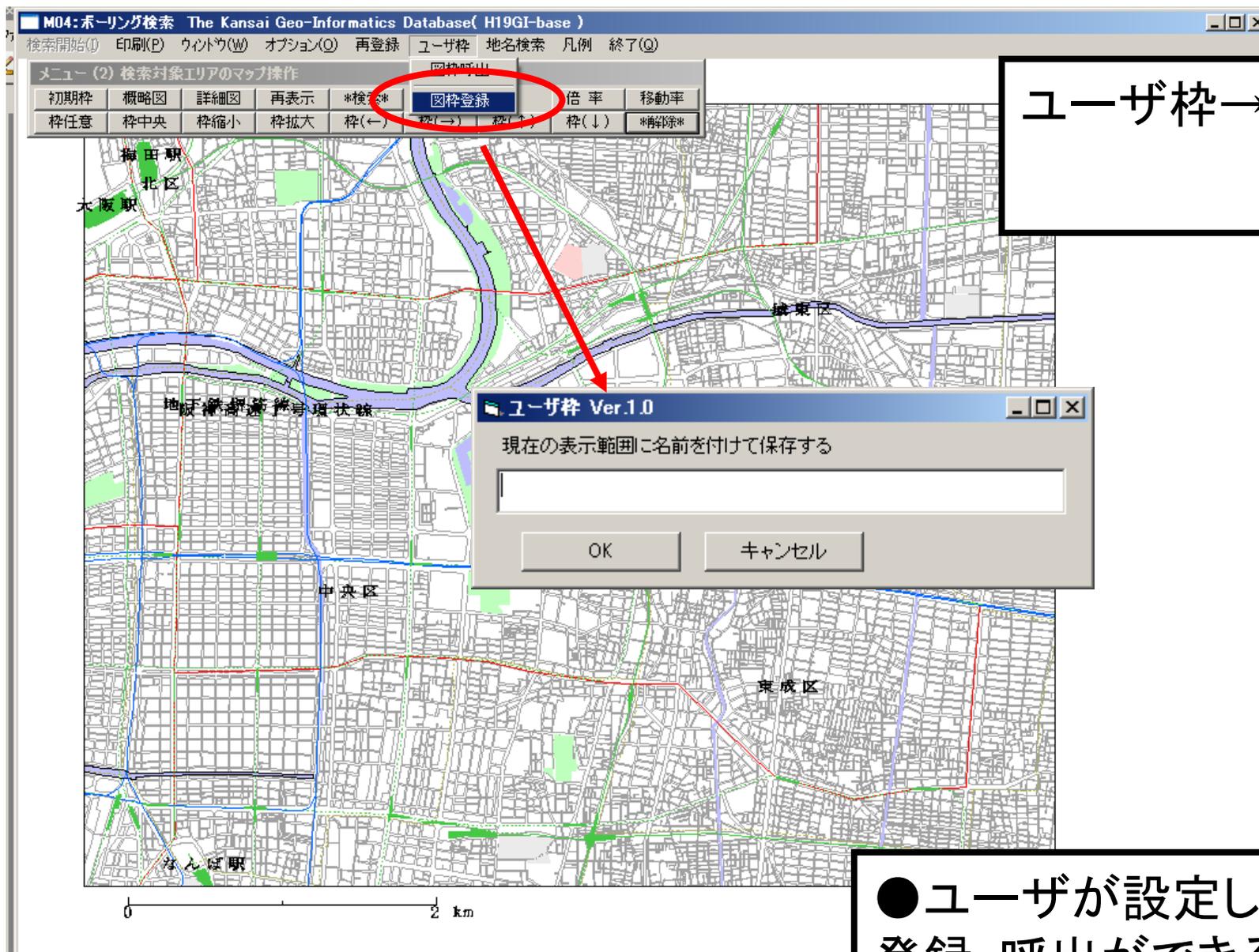
- 砂礫と砂の互層
- 砂とシルトの互層
- シルトと粘土の互層

盛土・埋立

- ヘドロ (盛土・埋立)
- 玉石・捨石 (盛土・埋立)
- 砂礫 (盛土・埋立)
- 砂 (盛土・埋立)
- シルト (盛土・埋立)
- 粘土 (盛土・埋立)
- 腐植土等 (盛土・埋立)
- 廃棄物等 (盛土・埋立)

PDFで表示

任意枠の登録・呼出

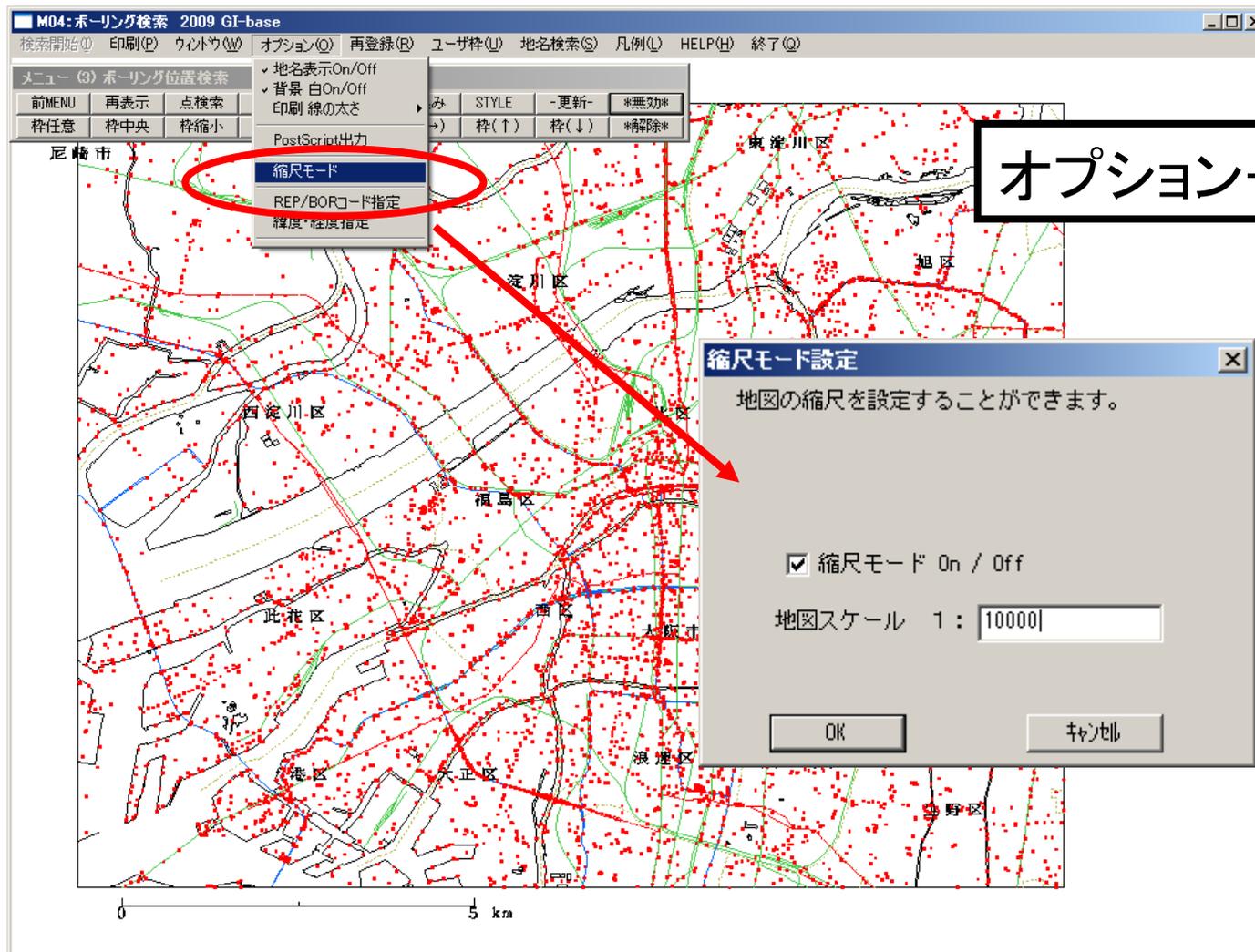


ユーザー枠→図枠登録

図枠呼出

●ユーザーが設定した任意枠を登録・呼出ができる

表示画面の縮尺調整

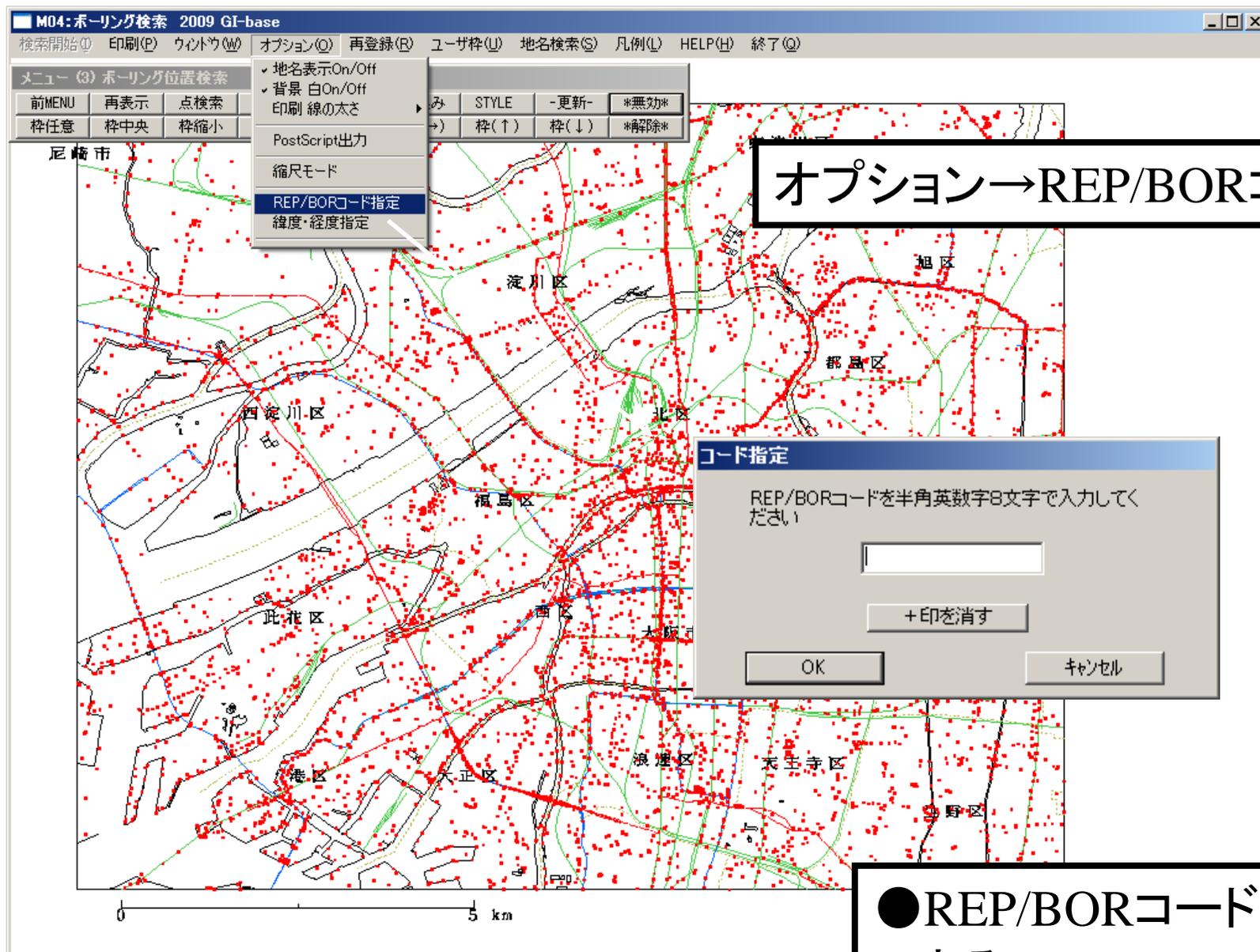


The screenshot shows a software window titled "M04: ポーリング検索 2009 GI-base". The menu bar includes "検索開始", "印刷", "ウインドウ", "オプション", "再登録", "ユーザ辞", "地名検索", "凡例", "HELP", and "終了". The "オプション" menu is open, showing options like "地名表示On/Off", "背景 白On/Off", "印刷 線の太さ", "PostScript出力", "縮尺モード", "REP/BORコード指定", and "緯度・経度指定". The "縮尺モード" option is highlighted with a red circle. A red arrow points from this option to a dialog box titled "縮尺モード設定". The dialog box contains the text "地図の縮尺を設定することができます。" and a checked checkbox for "縮尺モード On / Off". Below this, there is a text input field for "地図スケール 1 : 10000". At the bottom of the dialog are "OK" and "キャンセル" buttons. The background shows a map of a region with red dots representing drilling points and various district labels like "尼崎市", "東淀川区", "淀川区", "西淀川区", "福島区", "此花区", "港区", "大正区", "浪速区", and "野区". A scale bar at the bottom of the map indicates 0 to 5 km.

オプション→縮尺モード

●ユーザが任意の縮尺を設定できる

REP/BORコードからの検索



M04:ボリング検索 2009 GI-base

検索開始(O) 印刷(P) ウィンドウ(W) オプション(O) 再登録(R) ユーザ枠(L) 地名検索(S) 凡例(L) HELP(H) 終了(Q)

メニュー (3) ボリング位置検索

前MENU 再表示 点検索
枠任意 枠中央 枠縮小

地名表示On/Off
背景 白On/Off
印刷 線の太さ
PostScript出力
縮尺モード
REP/BORコード指定
緯度・経度指定

み STYLE -更新- *無効*
枠(↑) 枠(↓) *解除*

REP/BORコード指定

コード指定

REP/BORコードを半角英数字8文字で入力してください

+印を消す

OK キャンセル

オプション→REP/BORコード指定

●REP/BORコードから検索ができる

検索機能 (地名検索)

■ M04: ボーリング検索 2009 GI-base

検索開始(D) 印刷(P) ウィンドウ(W) オプション(O) 再登録(R) ユーザ枠(U) **地名検索(S)** 凡例(L) HELP(H) 終了(C)

メニュー (1) 検索対象エリア初期値

メニュー | 1.図 郭 | 2.設定枠 | 3.任意枠 | ユーザ枠 | 地名検索
背景図上 | 5.図 郭 | 6.設定枠 | 7.任意枠 | 再登録 | *再表示* | **解除**

地名検索 Ver.2.5

府・県	市・区・町	町丁目	
大阪府	大阪市	都島区	相川 1丁目
京都府	大阪市	福島区	相川 2丁目
兵庫県	大阪市	此花区	相川 3丁目
滋賀県	大阪市	西区	淡路 1丁目
奈良県	大阪市	港区	淡路 2丁目
和歌山県	大阪市	大正区	淡路 3丁目
福井県	大阪市	天王寺区	淡路 4丁目
	大阪市	浪速区	淡路 5丁目
	大阪市	西淀川区	井高野 1丁目
	大阪市	東淀川区	井高野 2丁目
	大阪市	東成区	井高野 3丁目
	大阪市	生野区	井高野 4丁目
	大阪市	旭区	大隅 1丁目
	大阪市	城東区	大隅 2丁目
	大阪市	阿倍野区	上新庄 1丁目
	大阪市	住吉区	上新庄 2丁目
	大阪市	東住吉区	上新庄 3丁目
	大阪市	西成区	北江口 1丁目
	大阪市	淀川区	北江口 2丁目
	大阪市	鶴見区	北江口 3丁目
	大阪市	住之江区	北江口 4丁目
	大阪市	平野区	柴島 1丁目
	大阪市	北区	柴島 2丁目
	大阪市	中央区	柴島 3丁目
	堺市	堺区	小松 1丁目
	堺市	中区	小松 2丁目
	堺市	東区	小松 3丁目
	堺市	南区	小松 4丁目
	堺市	北区	

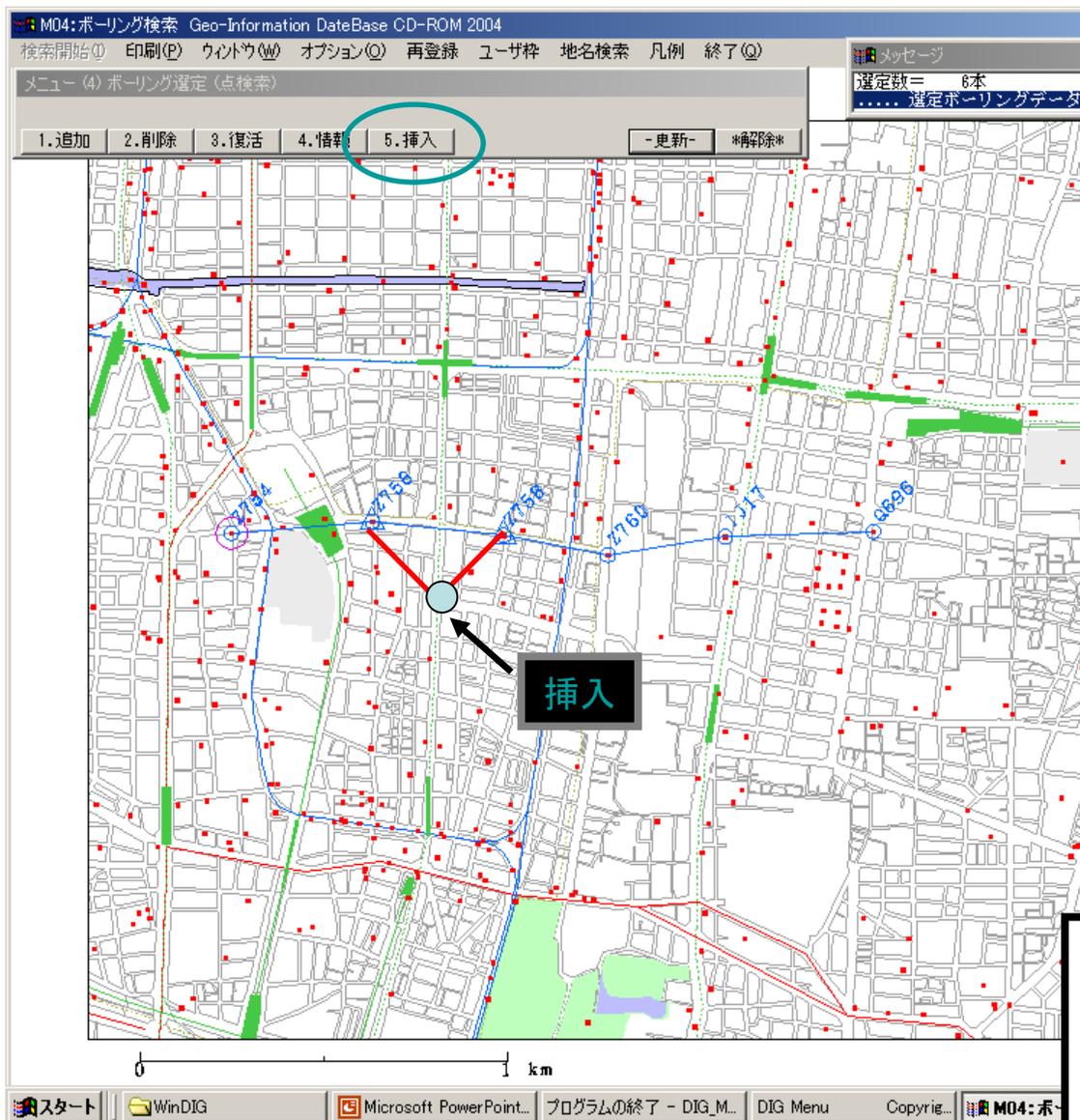
町丁目: 全部 | あ行 | か行 | さ行 | た行 | な行 | は行 | ま行 | や行 | ら行 | わ行

あいかわ1
あいかわ2
あいかわ3
あわじ1
あわじ2
あわじ3
あわじ4
あわじ5
いたかの1
いたかの2
いたかの3
いたかの4
おおすみ1
おおすみ2
かみしんじょう1
かみしんじょう2
かみしんじょう3
きたえぐち1
きたえぐち2
きたえぐち3
きたえぐち4
くにじま1
くにじま2
くにじま3
こまつ1
こまつ2
こまつ3
こまつ4

この地名検索に用いているデータは「大字・町丁目位置参照情報 国土交通省 (平成18~20年)」を加工して使用しています。

OK キャンセル

ボーリング検索における挿入機能

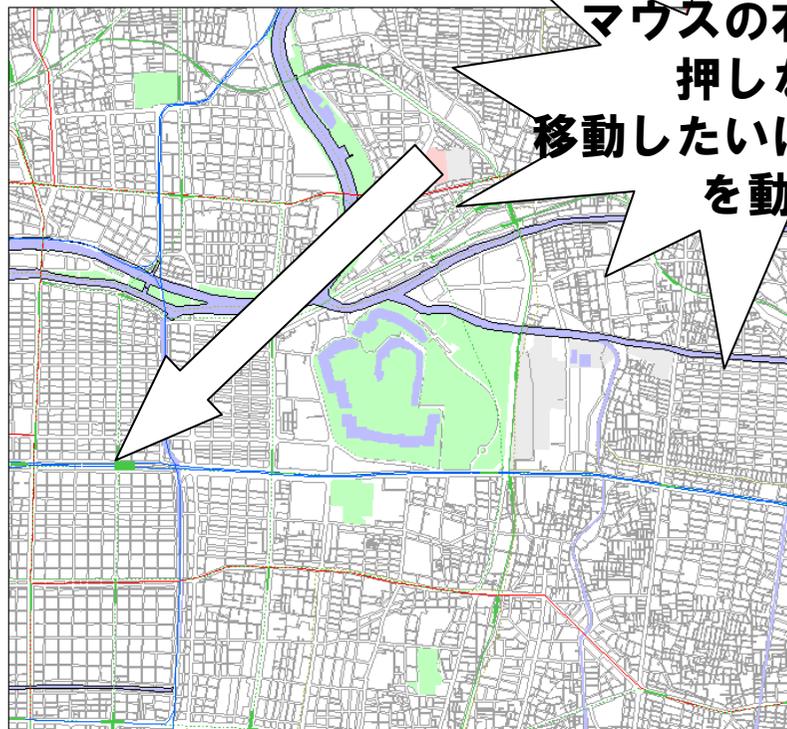


点検索→5. 挿入

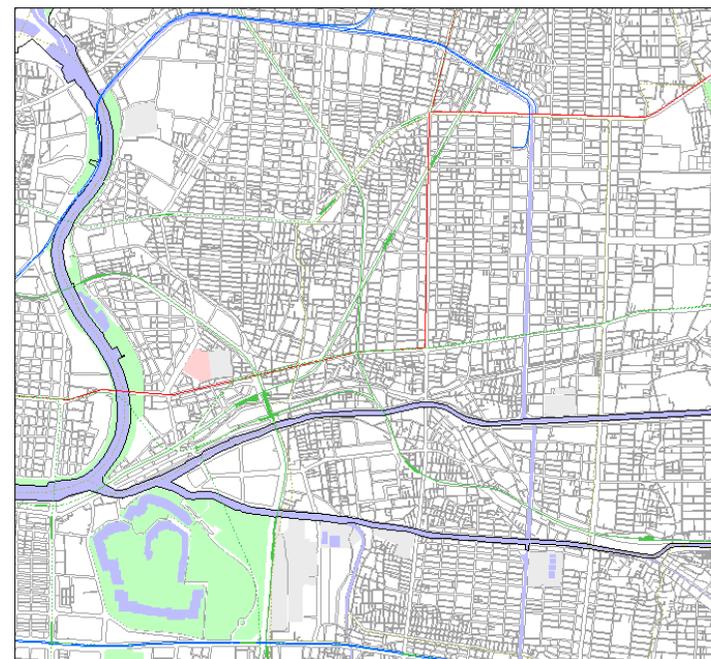
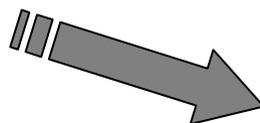
●既存に選択した断面線
に新たにボーリングを挿入
できる

検索機能：場所検索(1)

マウスによる地図のスクロール

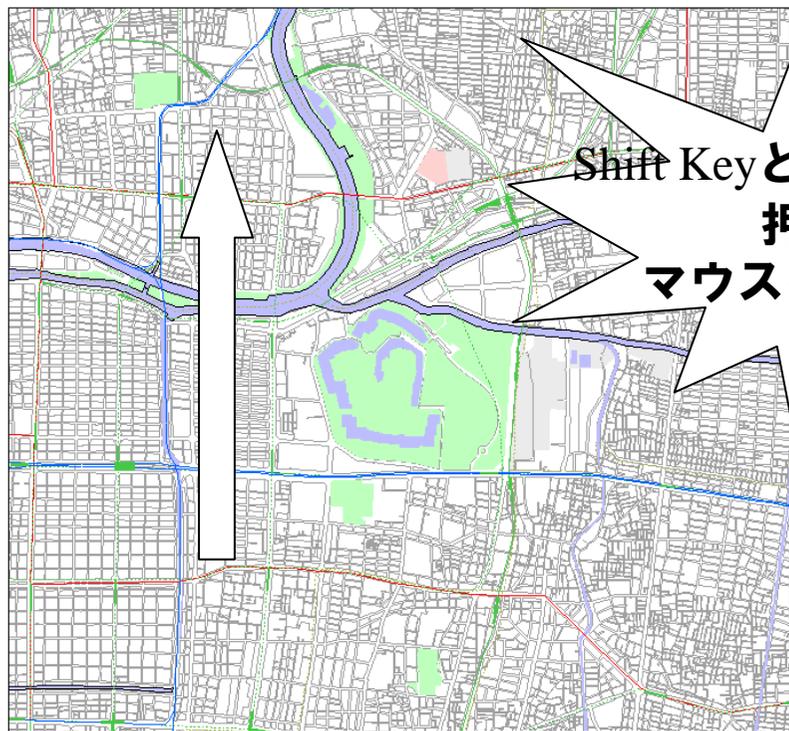


マウスの右ボタンを
押しながら
移動したいほうへマウス
を動かす

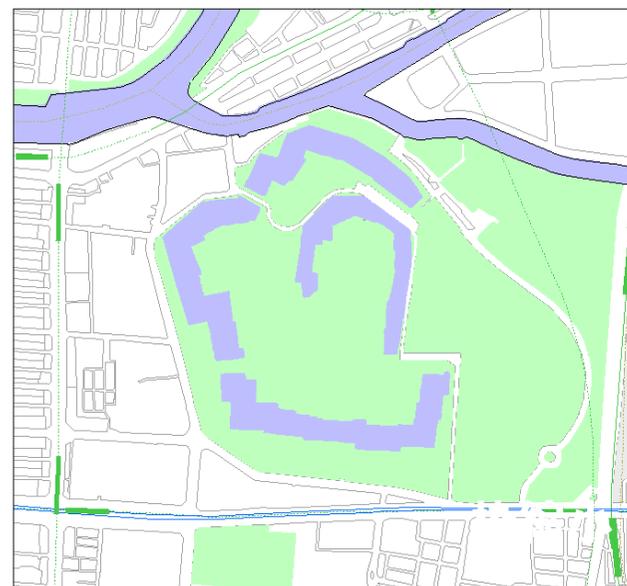
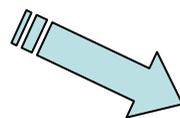
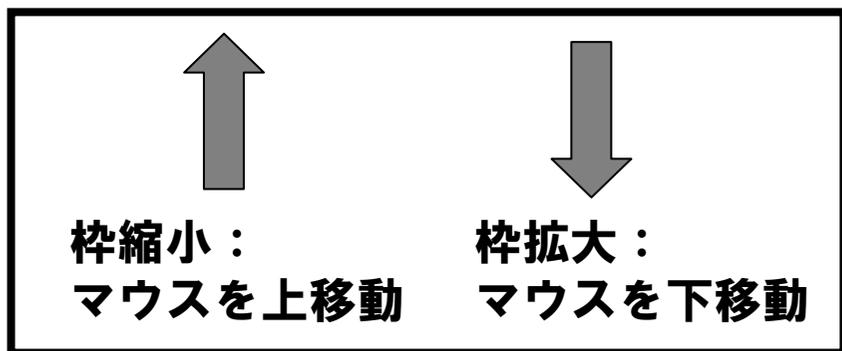
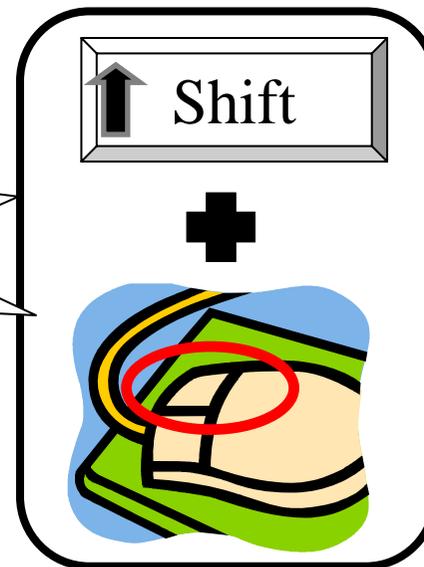


検索機能：場所検索(2)

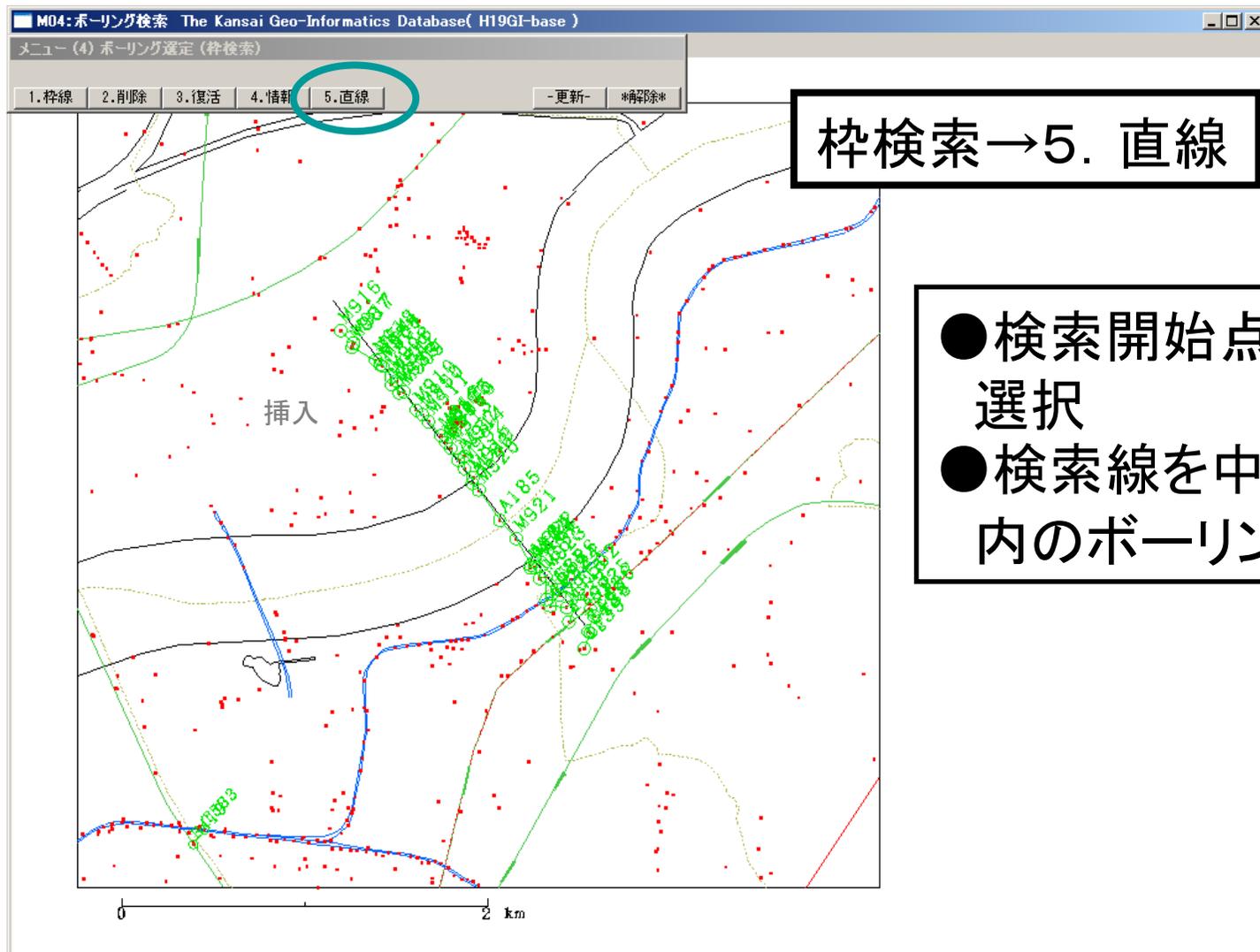
マウスによる枠拡大・枠縮小



Shift Keyとマウス右ボタンを
押しながら
マウスを上下へ動かす



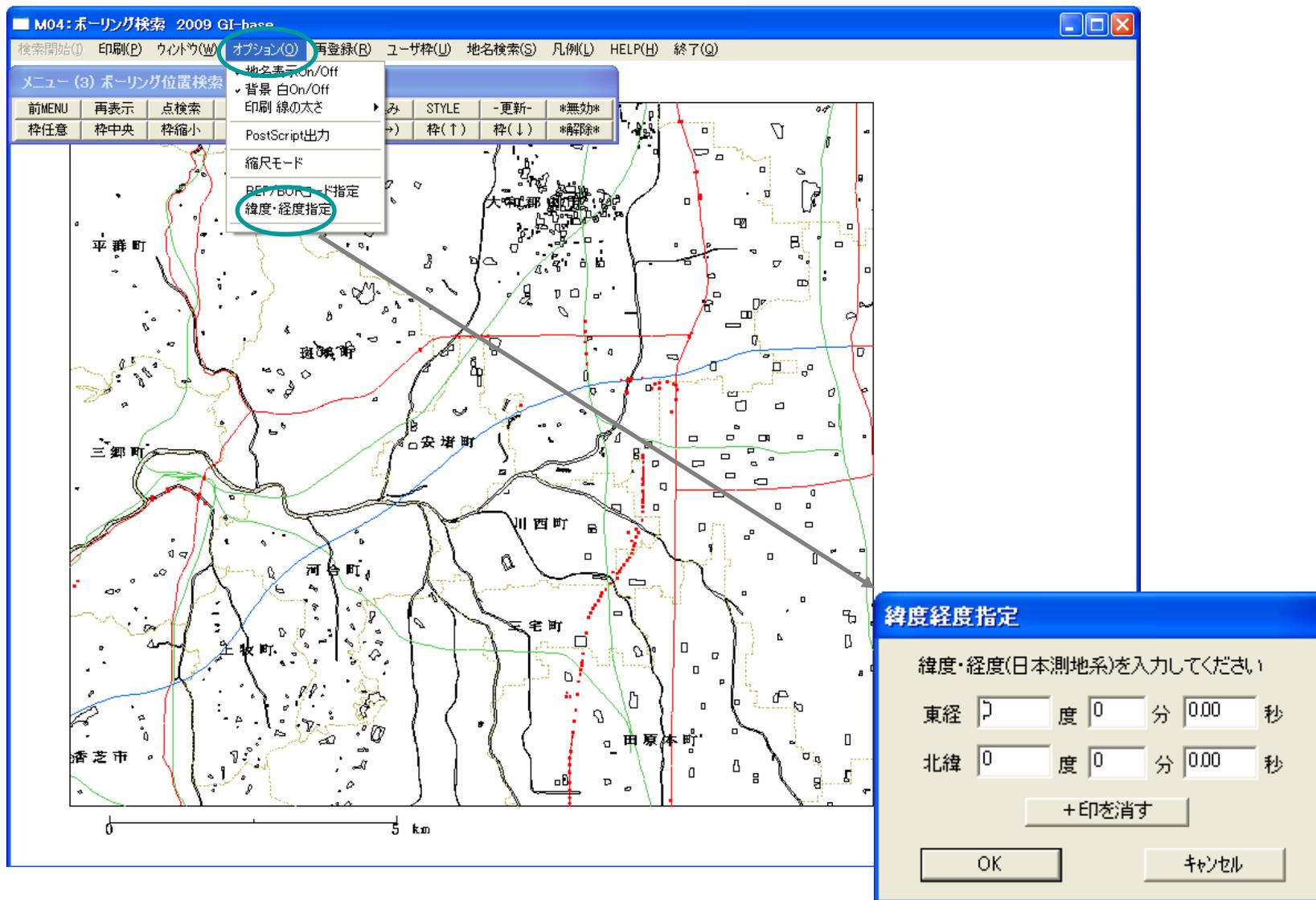
検索機能：直線検索



枠検索→5. 直線

- 検索開始点からボーリングを選択
- 検索線を中心に片側150m幅内のボーリングを選択

検索機能強化（緯度・経度検索）



緯度経度指定

緯度・経度(日本測地系)を入力してください

東経 度 分 秒

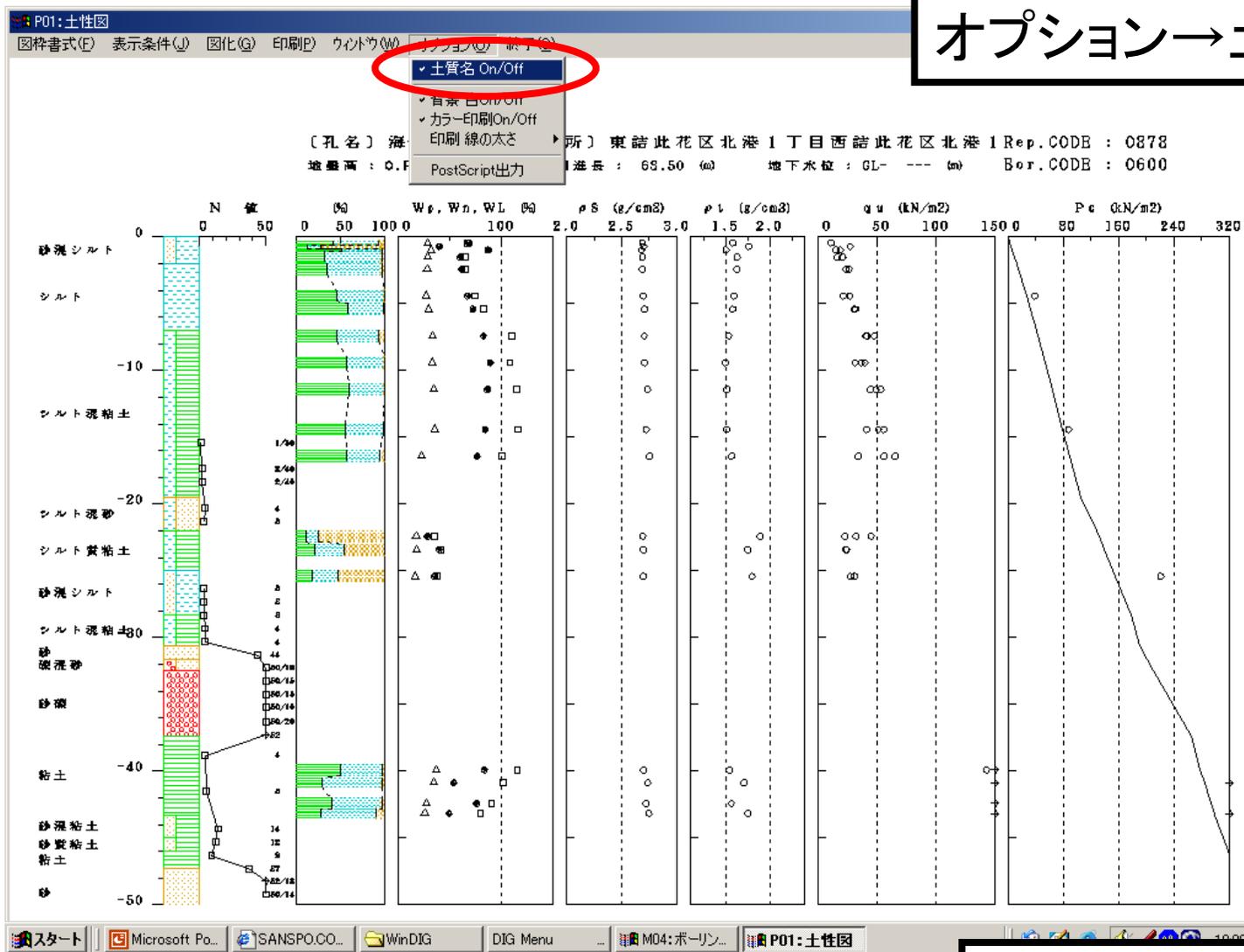
北緯 度 分 秒

+印を消す

OK キャンセル

日本測地系

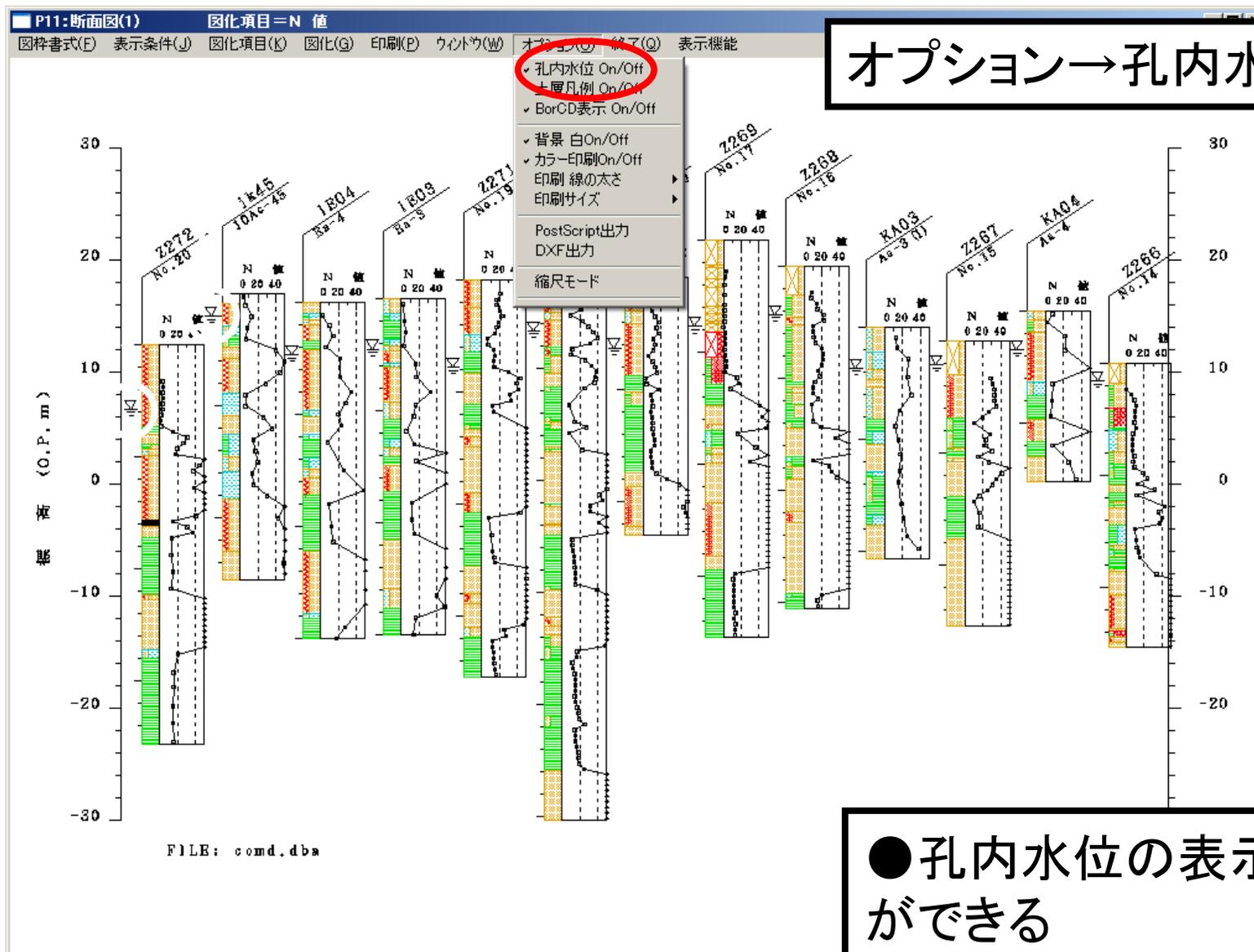
土性図での地層名表示



オプション→土層名 On/Off

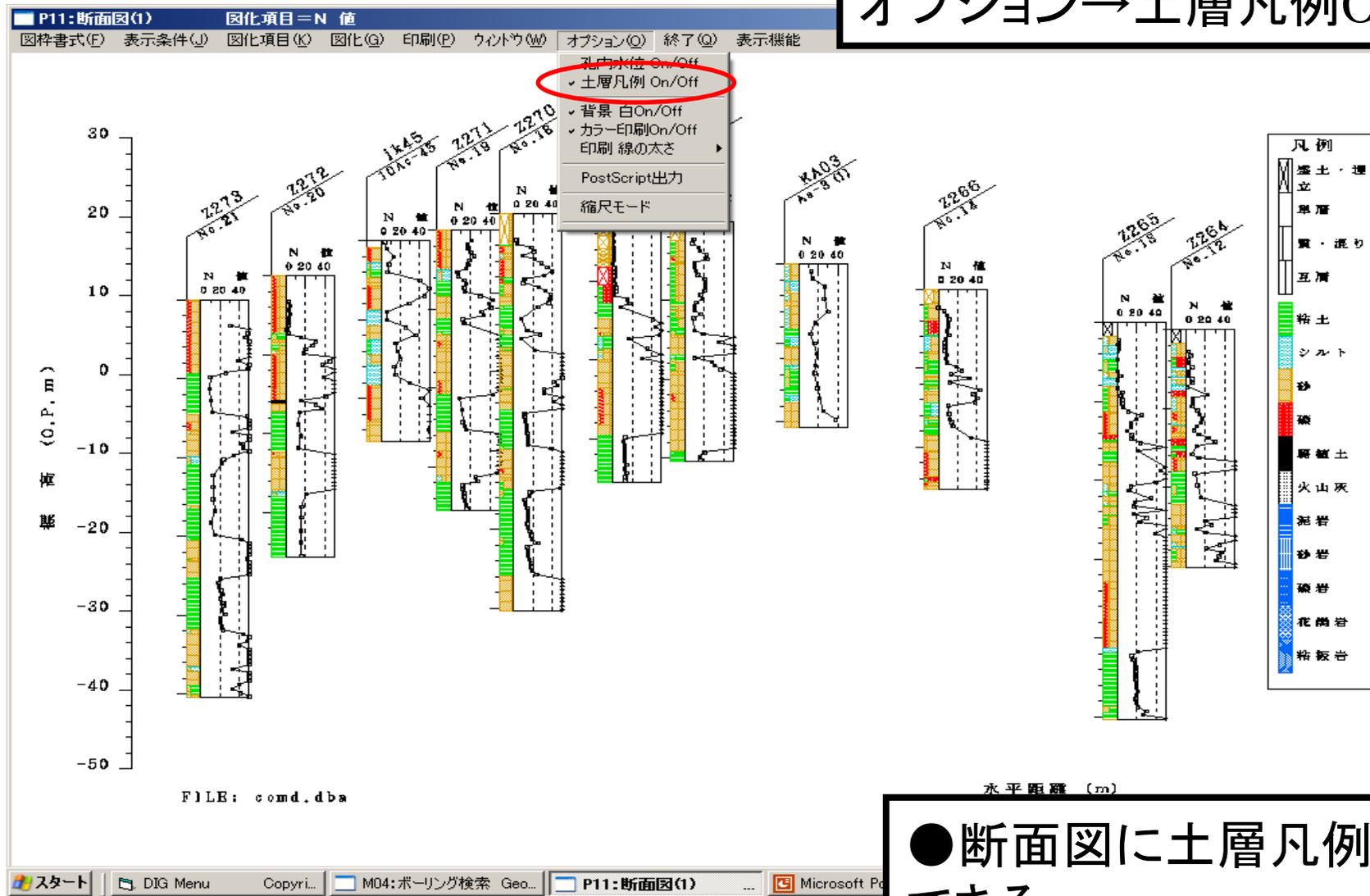
●土質名を表示できる

断面図の孔内水位表示



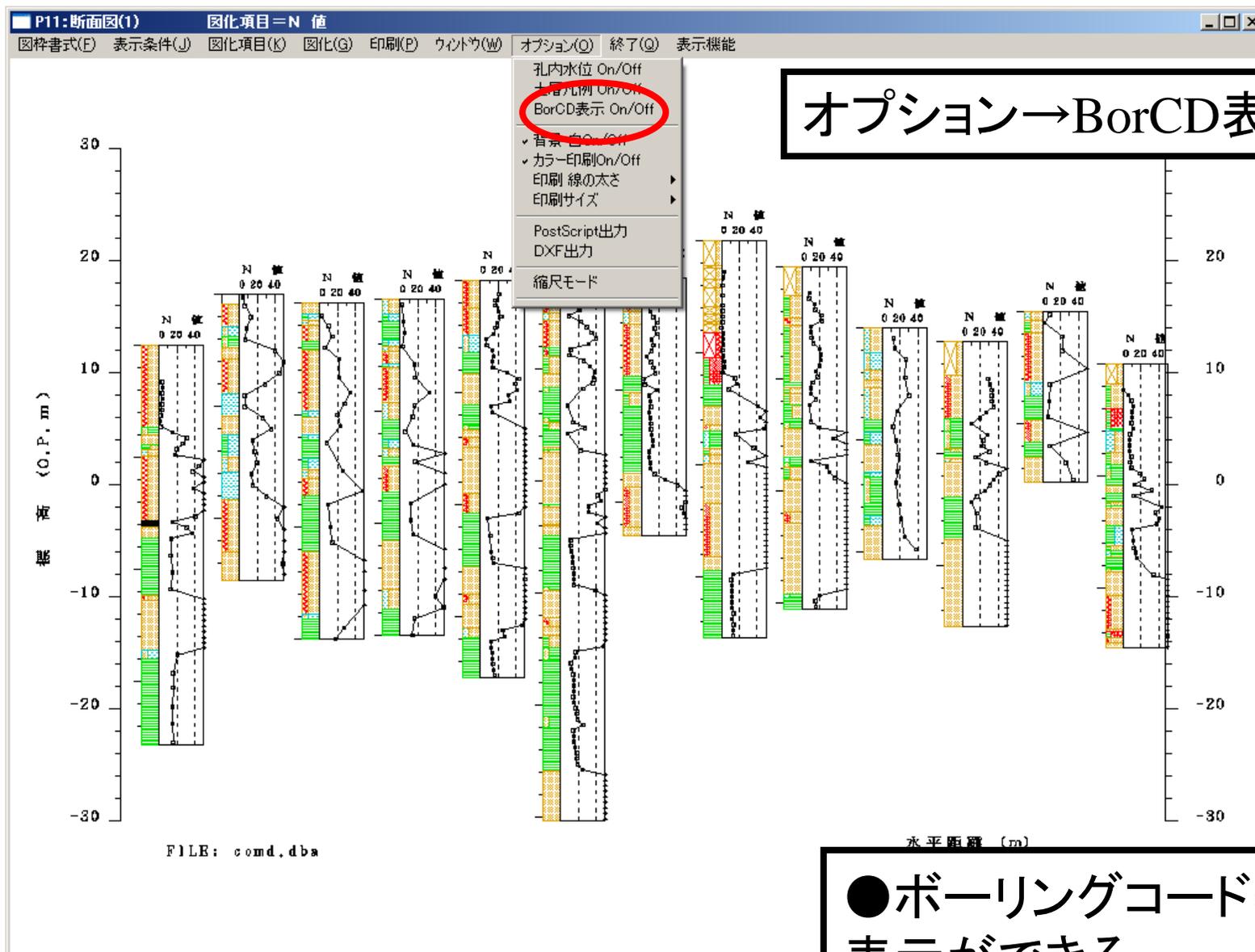
柱状図の凡例表示

オプション→土層凡例On/Off



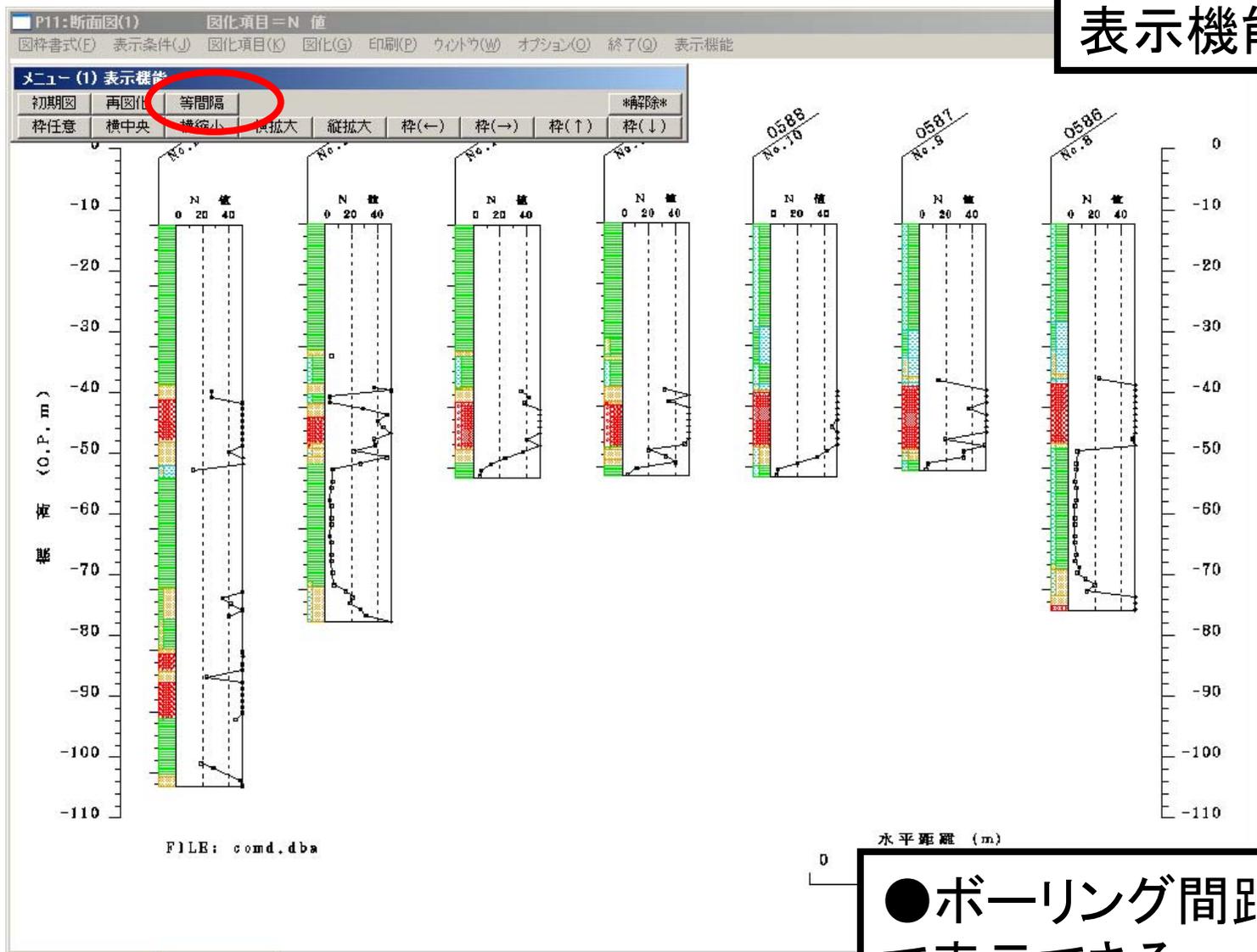
●断面図に土層凡例が表示できる

断面図のボーリングコード表示



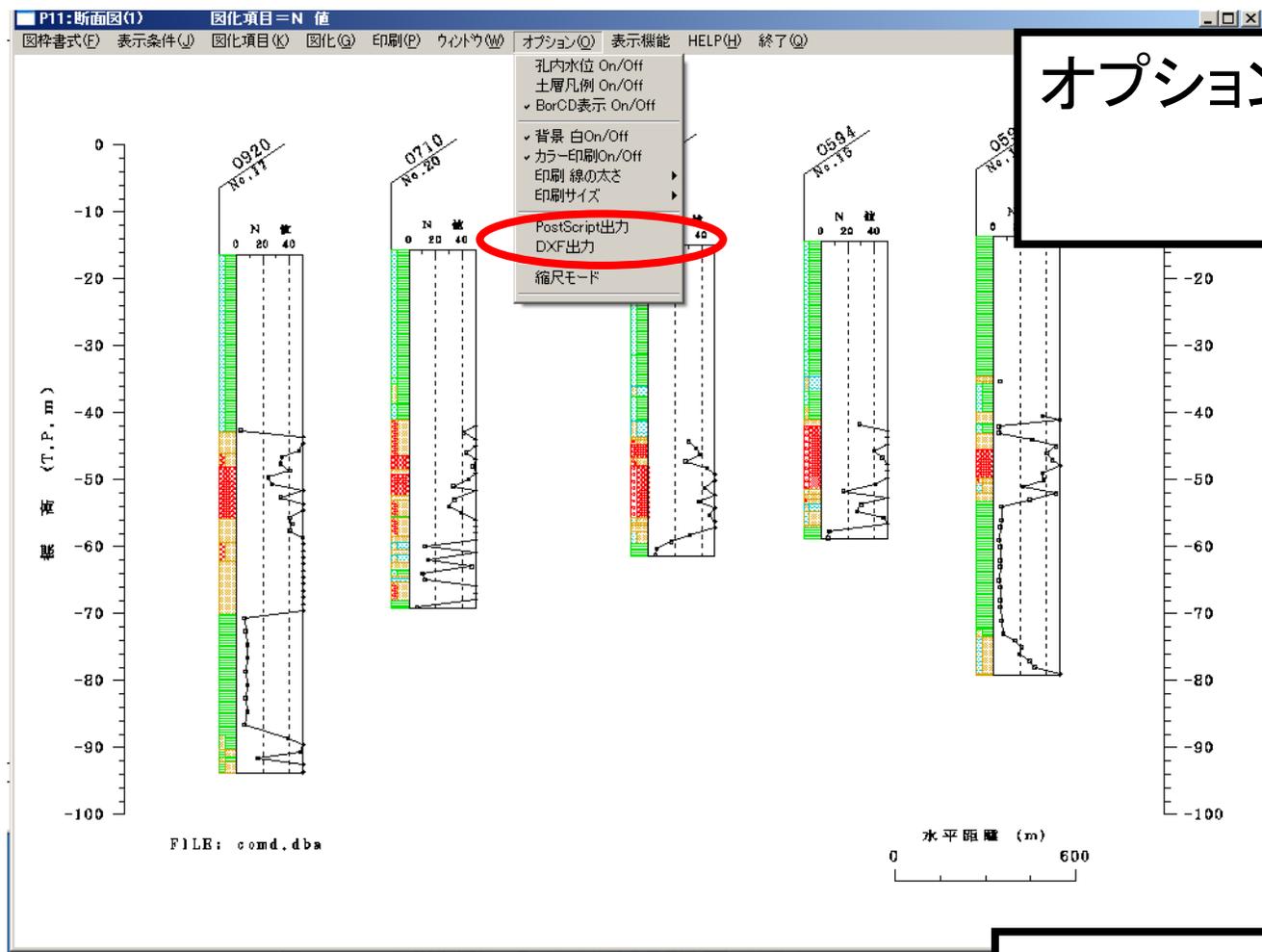
断面図の等間隔表示

表示機能→等間隔



●ボーリング間距離が等間隔で表示できる

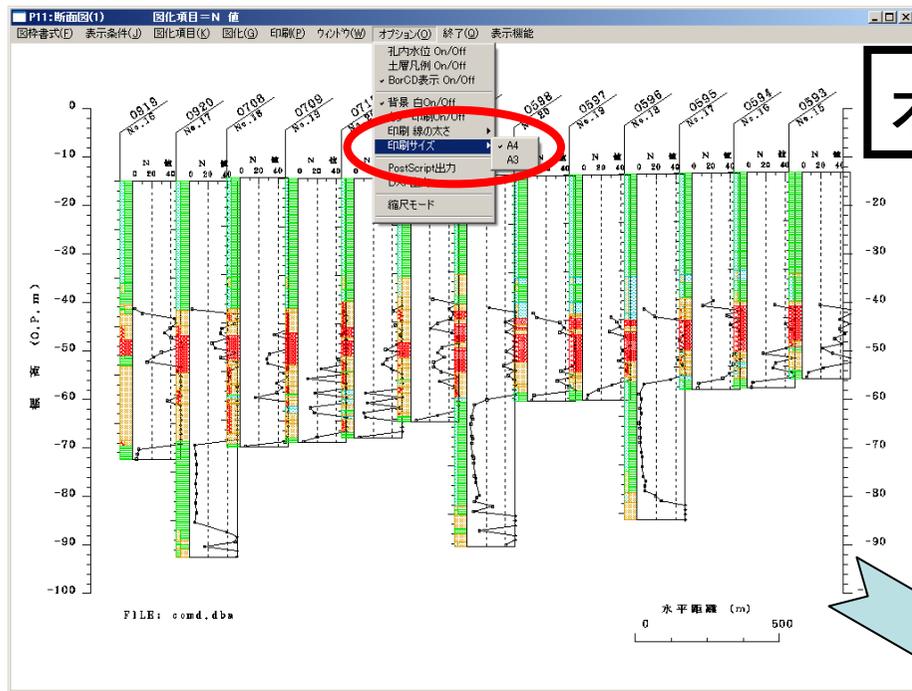
PostScript・DXF形式出力



オプション→PostScript形式
DXF形式

●プリンタ印刷のみでなく
CADのファイル形式に保存で
きる

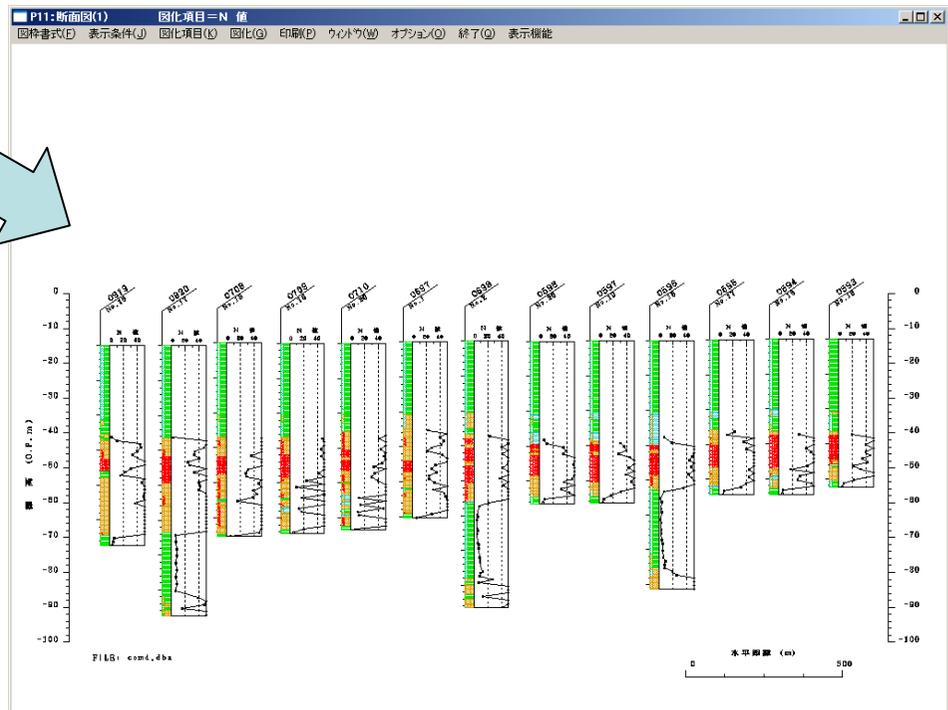
印刷機能：A3印刷



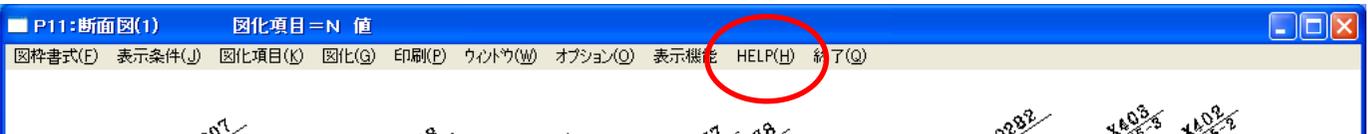
オプション→印刷サイズ

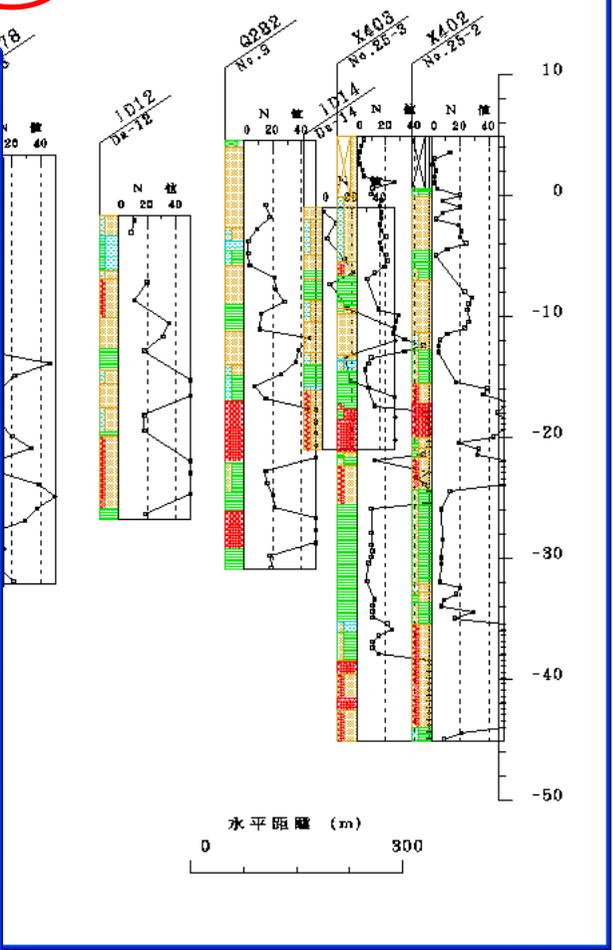
A3サイズの印刷では、用紙と用紙の向き(横)を設定する必要があります

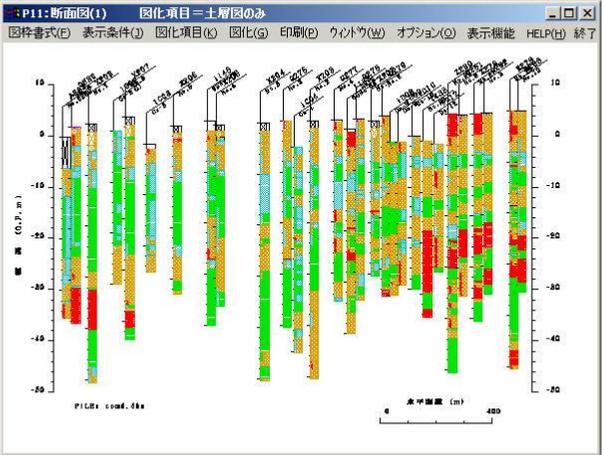
A4サイズの印刷では、用紙の向き(横)を設定する必要はない



HELP機能強化







断面図

選定ボーリングデータより断面図を表示します。また図化項目にN値、粒度組成、コンステンションなどを組み合わせて表示させることができます。
 表示例は図化項目を土層図のみとした場合です。

表示条件

メニューバーの[表示条件]をクリックすると表示条件設定ウィンドウが開きます。
 表示条件設定ウィンドウで断面図の表示形式を変更することができます。変更したい項目キーを入力して[OK]ボタンをクリックします。

ページが表示されました